

2019年最低生計費試算調査 (通称:京都生活実態調査)

# 報告書



2020年1月  
京都総評

2019年最低生計費試算調査（通称：京都生活実態調査）

# 報告書

## もくじ

---

ごあいさつ .....	2
京都総評の見解 .....	4
2019年京都生活実態調査（最低生計費試算調査）結果 報告書 .....	6
試算結果総括表 .....	10
項目ごとの試算結果について .....	12
資料 .....	31

---

## ごあいさつ

京都地方労働組合総評議会 議長 梶川 憲

## 監修にあたって

静岡県立大学短期大学部 中澤 秀一

私たちは、「8時間働けば、ふつうに暮らせる賃金と働き方」を求めています。

安倍政権が、「働き方改革」と偽って、労働者を隙間なく、天井知らずに働かせることを狙っている下で、残業代に頼って暮らしを立てる、異常な社会に警鐘をならさねばならない情勢です。賃金の大幅な改善をしてこそ、人間らしい働き方の土台をつくることになる、形だけの「働き方改革」では、その矛盾は、労働者に押し付けられることになるでしょう。

しかし、「ふつうに暮らす」イメージがそれぞれです。賃金ですべての暮らしを賄う我が国で、求められる「ふつうの暮らし」とはどんなものか、それにはどれほどの賃金がそもそも必要なのかを客観的に描く必要があるのではないか。この問題意識が、京都で二巡目になる本調査実施への動機となりました。

二巡目は、2006年に、京都総評が研究者の皆さんの力を借りて生み出した本調査が、全国を駆け巡ってきました。この間の各地での調査結果を経て、全国どこに暮らしていても、おおよそ必要な経費は同じであること、一人暮らしを青年がするためには、時間額でおおよそ1,500円ほど必要であることが、明らかになってきました。

調査を経て明らかになったことは、京都でも、全国同様の水準の経費が必要であることにとどまりませんでした。前回の調査に比べて、各段に可処分所得が狭められ、衣食住という生活の基本にガマンを強いられていることです。合わせて、ローン化した奨学金返済が重くのしかかっている実態でした。

単身者発表に続いて、二度目の発表は、「4人家族でふつうに子育てしようと思えば、これほど必要」の発表でした。4人家族が「ふつうに暮らす」ために求められる水準とは、今日の賃金水準では追い付かない姿でした。調査の向こう側から、各世代の労働者・生活者の悲鳴が聞こえてきました。この新聞報道が、インターネットのツイッターで沸騰しました。TVの朝のワイドショーの特集ともなり、京都総評のホームページは一晩、サーバーがダウンするほど注目をあび、社会的話題になりました。「ふつうに暮らせる」姿の可視化は、社会的に求められていたと言えます。

4,800名近くの組合員の皆さんが、最後まで調査票に記入すると小一時間になる膨大な「生活実態調査」に応えてくれました。結果、京都総評に参加する、多彩な業種の実態が把握でき、世代と地域でも、生きる調査結果を得ることができました。本冊子は、二度の結果発表分です。

今回の調査を経て、最低賃金・時給1,500円と全国一律最賃制度の実現、暮らしを覆う社会保障や税の負担増に抗したたたかいを、社会的に進めていくことが求められていると実感しています。労働組合の社会的役割を発信するスタートを切る思いで、本調査の中間報告をお届けします。ご活用ください。

最後に、この紙面をお借りして、調査を監修していただいた中澤秀一先生に、心からのお礼を申し上げる次第です。

2020年1月

京都総評では、2018年夏より本格的に生活実態調査（最低生計費試算調査）の取り組みを始めた。ご承知のとおり、今回の取り組みは初めてではなく、2006年にも同様の調査が実施され、2回目となる調査であった。今回は、2019年5月29日に第1弾として、若年単身世帯（25歳のひとり暮らしの若者）の調査結果を、同12月5日には第2弾として、30代・40代・50代の子育て世帯（夫婦と未婚子2人の4人家族）の調査結果を、それぞれ公表するに至った。双方とも各メディアで取り上げられ、前回以上に広く世間に拡散することとなった。調査結果の詳細は、各報告をご覧になっていただきたいが、これほどまでにメディアが注目したのは、京都のみならず日本全体で労働者・市民の実態がますます悪化していることが背景にある。「全国どこでもだれでも1日8時間はたらけば普通に暮らせる」ことをスローガンに、各地で運動が展開されているところであるが、本調査結果を含めて各地で実施されている最低生計費試算調査の結果は、現在の暮らしが普通から遠ざかっていることを如実に示した。今後の労働運動において、賃金の底上げや社会保障制度の拡充等を求める要求の強い根拠となっていくことだろう。

さて、先に調査結果が大きく広がった背景として、生活実態の悪化があったことを述べたが、そのほかにもう2点を指摘しておく。第一に、今回の調査にかけた京都総評をはじめ、各単産・団体の意気込みである。このことは、回収された4745部の調査票の数に最も表されている。生活実態調査と持ち物財調査とからなる調査票は、記入項目が他の調査票に比して極めて多く、回答者の負担はかなり重い。それにかかわらず、これだけまとまった数を回収できたのは、ひとえに本調査の意義を徹底して各組織に落とし込んだ京都総評の尽力の賜物である。また、各組織の調査にかける期待も大きかったのであろう。

第二に、“見せ方”の工夫である。どんなに意義のある調査でも、放っておいて結果が拡散するとは限らない。公表にあたって、報道する側が取り上げやすくなるために、“見せ方”の工夫を凝らした。たとえば、記者会見においてはパネルを使ってできるだけ端的に調査結果を伝えた。また、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を使って、これまで労働組合に関わってこなかった人たちにも容易に結果にアクセスできるようにした。このことにより、飛躍的に結果が拡散し、世間で話題になったのである。

このように、調査の結果を出して分析するところまでは、おおむね成功したと言ってもよいだろう。ただ、これで終わったのではなく、むしろここからがスタートである。今回の調査結果をどのように活用するのか。最低賃金額の引き上げや、全国一律の最低賃金制度をめざす根拠となるほか、春闘の賃金討議の素材、公契約条例における賃金設定の基礎、人事院勧告による標準生計費の批判の材料、賃金と社会保障の関係を考える手がかり等、さまざまな場面で活用できるのである。今回の調査結果は、調査に協力していただいた労働者だけのものではない。すべての労働者のために活用されることを期待して、監修の結びとしたい。

## 最低賃金は時間額1,500円以上必要

—京都における最低生計費試算調査（通称・京都生活実態調査）の結果を生かし、最低賃金の大幅引き上げと全国一律最賃制を—

2019年5月  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）

京都総評は「誰でもどこでも8時間働けばまともな暮らしを」を掲げ、普通に暮らしていくために必要な賃金を可視化することをめざして、静岡県立大学准教授・中澤秀一先生の監修のもと、生活実態調査に取り組んできました。

昨年10月14日のスタート集会を皮切りに、単産・地区労協の協力を得ながら調査活動を進めてきました。あらゆる産業、居住地から4,745通の調査票の回収があり、多くの年代、世帯類型、地域で有意な結果を得ることができました。今回、第1次の分析結果として、最低賃金の影響を最も受ける若年単身者世帯（サンプル数412通）について公表することとなりました。調査に協力いただいた組合員にあらためて感謝します。

今回、25歳・単身者、京都市北区在住をモデルとして試算した結果は次の通りです。

必要となる生活費・賃金の水準

	男性	女性
月額	245,785円	242,735円
時間額（月150時間換算）	1,639円	1,618円

※この間全国で行った調査結果とほぼ同程度の水準  
※今後さらに年代別、世帯構成別、地域別などの分析を行い、結果の公表を行う

調査結果から明らかになったのは、第一に現行の最低賃金はあまりにも低すぎることです。時間額882円にとどまっている京都府の最低賃金の大幅な引き上げを行い、「時間額1,500円をめざし、今すぐ1,000円に」という私たちの要求が、根拠をもって示されました。第二に調査によって得られた結果は、2015年以降の15地方での調査で最も高い静岡県静岡市の最低生計費のほぼ9割の範囲内（京都は93.9%）に、全国の最低生計費が収まり、全国どこでも同水準であることから、最低賃金を全国一律にすべきという要求の正当性が、改めて裏付けられました。

私たち京都総評は、調査結果を踏まえ、最低賃金を今すぐ時間額1,000円にし、1,500円以上を実現する大運動を進めます。同時に、引きあがった最低賃金を支払うことのできる環境を作るため、抜本的な中小企業支援策の強化と、予算の大幅増額を求めます。また、最低生計費が全国どこでも同水準でした。地域間格差をなくし、全労連など、全国の仲間と力を合わせ、全国一律の制度を求めていきます。

以上

## 京都で子育てしながら「普通に」暮らすには年間580万～850万円必要

—京都における最低生計費試算調査（通称・京都生活実態調査）の結果を生かし、8時間働いて「普通に結婚し子育てできる」暮らしを展望して—

2019年12月  
京都地方労働組合総評議会（京都総評）

京都総評が本年5月29日に発表した最低生計費試算調査（通称・生活実態調査）の結果は、広く社会的な論議を呼び起こしています。この度、続いて生活実態調査をもとに、静岡県立大学准教授・中澤秀一先生の監修をうけ、30代、40代、50代の「夫婦と未婚子世帯」、いわゆる子育て世帯について、「京都で子育て世帯が「普通に」暮らしていくためにいくら必要となるのか」の調査結果（サンプル数30代321通、40代481通、50代563通）を発表します。

今回、30代、40代、50代の子育て世帯、京都市伏見区在住をモデルとして試算した結果は次の通りです。

夫婦と子ども2人世帯で必要となる生活費・賃金の水準（月額）

	30代	40代	50代
月額	486,913円	549,823円	707,536円

2018年の「賃金構造基本統計調査」では、30代32万円、40代39万円、50代42万円となっており、京都で子育てをしながら「普通に暮らして」いくには、現在の賃金だけでは困難であることが明らかになりました。ダブルワークや、生活のために残業をせざるを得ない働き方が、長時間労働の是正を困難にしています。「働き方改革」というのであれば、「普通に暮らせる」賃金水準の確保がカギになります。また非正規比率の上昇が労働者全体の賃金水準を引き下げており、「普通の暮らし」の実現を遠ざけています。

私たち京都総評は、20代単身者世帯、30～50代の子育て世帯のそれぞれの調査結果を踏まえ、最低賃金を時給1,500円にするとともに、8時間働けば「普通に結婚し子育てできる」暮らせる賃金水準を求めていきます。同時に「普通の暮らし」を困難にしている教育費の負担や、社会保障の負担、事実上教育ローンとなっている奨学金など、社会保障を含めた制度全般の改善を求め、「普通の暮らし」の実現をめざします。

以上

# 2019年京都生活実態調査（最低生計費試算調査）結果 報告書

2019年12月

京都地方労働組合総評議会（京都総評）

監修：静岡県立大学短期大学部 中澤秀一 准教授

## はじめに

2004年に京都から始まった生活実態調査（最低生計費試算調査）の取り組みは、全国に広がり、全国どこでも普通に暮らしていくために必要な水準が示されることとなった。ここでは、「最低賃金では、健康で文化的な生活はとうてい送れないこと」「最低生計費には全国どこでもそれほど差がないこと」「賃金だけではなく、社会保障の充実なしには普通の暮らしは実現しないこと」等の結論が導き出されている。各地各方面の運動では、これらの調査結果が活用されており、たとえば最賃運動においては「最低賃金を全国一律かつ1,500円」にしなければならないことの根拠（エビデンス）とされ、強い確信をもたらしている。

その後の情勢の変化を踏まえ、再度京都で生活実態を調査するのは、京都に働く労働者にとって「普通に暮らしていくために」必要な費用を前回調査との比較も含めて社会に示すことが、現状の打開につながると考えるからである。

具体的には、京都において生活実態調査（最低生計費試算調査）を実施するのは、まずは①最低賃金額の引き上げと全国一律制度への改正の強い根拠を示すことが、大きな目的である。ただ、これだけに止まらず、②春闘の賃金討議の素材（特に各年代で具体的にどのくらい生活費が必要なのかを明らかにできる）を示す、③公契約運動推進における賃金設定の基礎となる考え方を示す、④人事院の標準生計費に対する批判の根拠を示す、⑤賃金と社会保障の関係を考える手がかりを示す等、さまざまな成果も期待されている。前回の2006年の調査と同様に「京都における健康で文化的な暮らしを送るための費用」をより明確な数字で提示することで、格差・貧困の拡大や、地域の衰退などのさまざまな問題解決の出発点としていきたい。

2019年5月に公表した調査結果は、京都市北区在住の25歳単身者が普通の暮らしを送るためには、男女ともに月額24万円以上、時給で1,600円以上（税・社会保険料込）が必要であることを明らかにした。この結果は、最低賃金額引き上げ要求の強い根拠となっており、全国各地で最賃運動を大きく盛り上げる一助となっている。

さらに同年12月には30代・40代・50代の夫婦と未婚子のいる世帯について試算し、京都で普通に子育てをするために、どれだけの費用がかかるのかを明らかにした。ここから得られた結果は、深刻な社会問題となっている「子どもの貧困」について、その原因を示すデータとなるほか、地域経済の衰退に関してその処方箋となる賃金や社会保障のあり方を考える材料となるものである。発表後、30代で「月48万円必要」という結果がマスコミで大きく取り上げられ、ツイッターのトレンドワードとなるなど、全国的な注目を集めることとなった。

## 1. 調査の概要

最低生計費試算調査の目的は、生活実態調査や手持ち財調査等を実施し、それらの調査結果と他の統計資料を組み合わせ、若年単身世帯をはじめとした世帯モデルごとに、生活に必要な費目を積み上げた、「健康で文化的な最低限度の生活」を送るための最低生計費を算出することである。

### ● 今回実施された調査は、以下の3つの調査である。

- ①生活実態調査：調査対象者とその世帯の大まかな生活実態を把握し、最低生計費を試算する基礎資料とした。調査時期は2018年10月～2019年3月。
- ②持ち物財調査：生活実態調査の際に、調査対象世帯がふだん使いしている物とその数量をすべて記入してもらい、最低限度の生活を営むための必需品を決める際の基礎資料とした。
- ③価格(市場)調査：最低生計費の試算対象となる世帯モデルの居住地域（京都市）において、家賃や手持ち財調査で設定した必需品などの価格調査を実施した。主な調査時期は2019年5月と2019年9月。

これらの3調査に統計資料を利用した食料費、光熱・水道費、通信費、教育費などの試算結果を組み合わせ、それらを一つひとつ積み上げていく「マーケット・バスケット方式」による最低生計費の試算を行った。この方式を採用したのは、内容が具体的でわかりやすいという利点があるためで、かつては生活保護基準を定める際にも採られており、古典的な方式ではあるが信頼性は高いものであると考えられる。

2018年10月からアンケート票の配布開始。2019年3月末日で4,745部を回収（配布数43,000部：回収率11%）。このうち、試算対象となる若年単身者（20歳未満+20歳代+30歳代）の回答数は412部、30代夫婦と未婚子からなる世帯（以下、30代世帯と略）の回答数は321部、40代夫婦と未婚子からなる世帯（以下、40代世帯と略）の回答数は481部、50代夫婦と未婚子からなる世帯（以下、50代世帯と略）の回答数は563部であった。なお、夫婦の世代は、回答者（夫または妻）の年齢で区別している。

## 2. 算定の対象となる世帯モデルと居住地域

最低生計費の試算対象となる世帯モデルと居住地域を設定するには、①生活実態調査結果をできるだけ反映すること、②世帯モデルごとの条件をできるだけそろえること、③過去や他地域の調査で設定された世帯モデルを参考にすること、④地域（京都府や京都市など）における家族の就労生活状況をできるだけ反映すること、⑤試算が複雑になりすぎないようにすること、以上の諸点を考慮した。

なお、最低生計費の試算にあたっては、できるだけ実態に沿った試算を行うために、2019年4月に京都で一人暮らしをしている20代、30代の労働組合員に、10月には実際に京都府内で子育てをしている30代～50代の労働組合員に集ってもらい、「合意形成会議」を開催した。この会議では、アンケートの結果をもとに「健康で文化的な最低限度の生活」＝「あるべき普通の生

活」を実現するためには何が必要になるのか、お互いに意見を述べ、理論生計費と実態生計費の融合を図っている。

#### ▼ 1) 20代単身者

年齢は25歳、大学卒業後就職し、勤続年数3年の男女を想定する。年収のモデルは282万円（月収=21万円、一時金=30万円）と設定。

#### ▼ 2) 30代世帯（30代夫婦、小学生と幼稚園児の4人家族）

夫は30代で正規従業員として勤務、妻は30代で非正規で勤務（夫の扶養家族）、子どもは小学生（公立）と幼稚園児（私立）と想定する。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、小学3・4年生女性（8～9歳）、幼稚園児男性（3～5歳）とした。未就学児を私立幼稚園児としたのは、京都市で小学校入学前児童に占める保育所入所児童の割合=43.5%、3歳以上の約半数が幼稚園に就園しているからである（平成27年1月「京都未来こどもはぐくみプラン」京都市保健福祉局）。

#### ▼ 3) 40代世帯（40代夫婦、中学生と小学生の4人家族）

夫は40代で正規従業員として勤務、妻は40代で無職ないしパートタイマーとして勤務（夫の扶養家族）、子どもは中学生（公立）と小学生（公立）と想定する。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、これまでに実施された調査の家族モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分を考慮して、中学1～3年生男性（12～14歳）、小学3・4年生女性（8～9歳）とした。

#### ▼ 4) 50代世帯（50代夫婦、大学生と高校生の4人家族）

夫は50代で正規従業員として勤務、妻は50代で無職ないしパートタイマーとして勤務（夫の扶養家族）、子どもは大学生（京都市内の私立大学）と高校生（公立）と想定する。大学の所在地を京都府内にしたのは、文部科学省「平成30年度学校基本調査」によると、京都府内の高校を卒業して大学へ進学した学生のうち、51%が府内の大学に進学しているからである。なお、食料費などを試算する際の子どもの年齢と性は、これまでに実施された調査の家族モデルと推定エネルギー必要量の年齢区分を考慮して、大学生男性（18～21歳）、高校1～3年生女性（15～17歳）とした。

#### ▼ 5) 居住地域

20代単身者の居住地域としては、京都市北区（最寄り駅=北大路駅）を想定した。北区に設定したのは、公共交通機関が使いやすく（京都市中心部にある会社に公共交通機関を利用して勤務しているものと想定したため）、かつ比較的家賃の安価な物件が多くことが、主な理由である。

30代～50代の世帯モデルの居住地域は、合意形成会議において、子育ての環境が整っているとの意見が多く、比較的安価な賃貸物件の見込まれる京都市伏見区を想定した。これには後述するように、子育て世帯では自家用車の所有を想定していることも関係している。

## 3. 算定の方法と結果

今回の最低生計費試算調査は、金澤誠一氏（佛教大学）の監修のもとで行われた京都最低生計費試算調査（2004年）をベースに、一定の修正を加えた「首都圏最低生計費試算調査」（2008年4月～6月実施、2039ケース集約）・「東北地方最低生計費試算調査」（2009年5月～6月実施、1,615ケース集約）などの調査方法を、若干の修正を加えながらも、調査方法を大幅に変えてしまうと、従前の調査との比較が困難となることから、基本的には調査方法を踏襲している。さらに、科学研究費助成事業を受け、2014年から2018年度に進められた基盤研究（C）「現代版マーケット・バスケット方式による最低生計費の実証的研究」（研究課題番号：26380827）において実施された「静岡県最低生計費試算調査」「愛知県最低生計費試算調査」「北海道最低市生計費試算調査」等の調査で取り込まれた、各費目ごとの修正点に留意して算定を行っている。

### 2019年京都生活実態調査まとめ

生計費結果	20代単身世帯		夫婦と子ども2人世帯		
	男性	女性	30代	40代	50代
居住面積（賃貸）	25㎡	25㎡	42.5㎡	47.5㎡	50㎡
<b>A 消費支出（1～10）</b>	<b>178,390</b>	<b>175,640</b>	<b>381,075</b>	<b>420,094</b>	<b>553,834</b>
1 食費	44,441	35,347	112,881	128,228	138,407
2 住居費	41,667	41,667	63,542	67,708	69,792
3 光熱・水道	7,419	8,434	18,636	19,405	19,830
4 家具・家事用品	3,836	3,922	11,520	13,200	13,544
5 被服・履物	5,921	4,247	13,095	13,538	17,413
6 保健医療	1,137	2,733	8,440	11,857	12,003
7 交通・通信	18,612	18,612	53,185	53,707	65,847
8 教育	0	0	28,097	38,875	127,847
9 教養娯楽	27,510	27,531	26,192	26,702	28,879
10 その他	27,847	33,147	45,487	46,874	60,272
B 非消費支出	49,595	49,595	67,738	87,729	98,402
C 予備費	17,800	17,500	38,100	42,000	55,300
最低生計費（税抜き）A + C	196,190	193,140	419,175	462,094	609,134
<b>D 同上（税込み）A + B + C</b>	<b>245,785</b>	<b>242,735</b>	<b>486,913</b>	<b>549,823</b>	<b>707,536</b>
同上（税込み）D × 12	2,949,420	2,912,820	5,842,956	6,597,876	8,490,432

## 試算結果総括表

	20代単身世帯		30代	40代	50代
	男性	女性			
消費支出	178,390	175,640	381,075	420,094	553,834
食費	44,441	35,347	112,881	128,228	138,407
家での食事	25,754	21,854	86,382	100,131	107,722
外食・昼食	10,000	5,000	15,180	15,590	13,300
外食・会食	7,400	7,400	7,000	7,500	12,000
廃棄分	1,288	1,093	4,319	5,007	5,385
住居費	41,667	41,667	63,542	67,708	69,792
家賃	40,000	40,000	61,000	65,000	67,000
更新料	1,667	1,667	2,542	2,708	2,792
光熱・水道	7,419	8,434	18,636	19,405	19,830
家具・家事用品	3,836	3,922	11,520	13,200	13,544
家事用耐久財	1,363	1,363	5,522	5,606	5,606
冷暖房機器	36	36			
居間・寝室用家具	224	224	2,705	3,623	3,758
応接・書斎用家具	0	0			
室内装備品	363	363			
寝具類	398	398			
家事雑貨	547	607	1,857	2,372	2,548
家事用消耗品	905	931	1,436	1,599	1,632
被服・履物	5,921	4,247	13,095	13,538	17,413
被服・履物	5,561	3,797	12,375	12,728	16,243
洗濯代	360	450	720	810	1,170
保健医療費	1,137	2,733	8,440	11,857	12,003
交通・通信	18,612	18,612	53,185	53,707	65,847
交通費(定期代)	10,260	10,260	0	0	10,157
交通用具	450	450	37,671	37,715	39,276
通信費	7,902	7,902	15,514	15,992	16,414
教育	0	0	28,097	38,875	127,847

	20代単身世帯		30代	40代	50代
	男性	女性			
教養娯楽	27,510	27,531	26,192	26,702	28,879
教養娯楽耐久財	4,988	4,988	8,099	8,442	11,952
書籍	700	700			
教養娯楽用品	62	83			
日帰り行楽	5,000	5,000	5,000	4,000	2,667
旅行	7,500	7,500	8,333	5,000	5,000
余暇費用	8,000	8,000	3,500	8,000	8,000
NHK受信料等	1,260	1,260	1,260	1,260	1,260
その他の消費支出	27,847	33,147	45,487	46,874	60,272
理美容費	3,726	7,984	13,249	13,749	15,602
理美容用品	1,726	5,317	7,082	7,082	7,102
理美容サービス	2,000	2,667	6,167	6,667	8,500
身の回り用品	687	896	2,121	2,174	2,169
交際費・その他	23,434	24,267	29,117	29,951	41,501
自由裁量費	6,000	6,000	13,500	15,500	23,000
冠婚葬祭費	6,667	7,500	4,167	1,667	4,167
お中元・お歳暮	0	0	0	0	1,667
プレゼント費用	4,167	4,167	3,333	4,167	4,167
共益費(自治会費含む)	3,000	3,000	3,567	3,567	3,567
忘年会等	1,250	1,250	1,250	1,250	833
その他会費	250	250	500	500	500
組合費	2,100	2,100	2,800	3,300	3,600
非消費支出	49,595	49,595	67,738	87,729	98,402
所得税	5,290	5,290	5,901	7,853	4,101
住民税	8,908	8,908	12,432	16,258	9,867
社会保険料	35,397	35,397	49,405	63,618	84,434
予備費	17,800	17,500	38,100	42,000	55,300
最低生計費					
税等抜き月額	196,190	193,140	419,175	462,094	609,134
税等込み月額	245,785	242,735	486,913	549,823	707,536
税等込み年額	2,949,420	2,912,820	5,842,954	6,597,880	8,490,432

## 項目ごとの試算結果について

### (1) 食料費

内訳 資料P 32~36

食料費については、各年代類型とも、総務省「家計調査2018年」(品目分類、全国、二人以上世帯の年間収入が最も低い第I五分位階層)の各費目の購入数量及び100g当たりの平均価格から、4つの食品群の食品ごとに各構成品の加重平均によって消費単価を計算した(表1、ただし、嗜好品については、100kcal当たりの価格で算出)<sup>1</sup>。

次に、香川芳子監修『食品成分表2018 資料編』(女子栄養大学出版部、2018年)にもとづき、試算対象世帯モデルに対応する年齢層と性別に1日当たりと1カ月(30日)当たりの推定エネルギー必要量(カロリー)を求め(表2)、「4つの食品群の年齢別・性別・身体活動レベル別食品構成(1人1日当たりの重量=g)」(香川芳子・女子栄養大学教授案)にもとづいて必要な栄養を満たすように、食料費を試算した。すなわち、年齢別・性別・食品群別の食品構成量(身体活動レベルIIの重量)に表1の消費単価を掛けて、1日当たりの推定エネルギー必要量の95%を摂取するためにかかる金額を計算した。

表1 4つの食品群別食品と嗜好品の消費単価

食品群	第1群	乳・乳製品	27.66円
		卵	31.2円
第2群	魚介・肉	194.07円	
		豆・豆製品	22.59円
第3群	野菜・海藻	52.51円	
		いも類	31.05円
		果物	46.5円
第4群	穀類	51.32円	
		砂糖	26.29円
		油脂	55.44円
嗜好品(飲料・酒類)		83.8円	

注) 4つの食品群は100g当たり、嗜好品は100kcal当たりの消費単価である。

表2 年齢別・性別の推定エネルギー必要量

	1日当たり必要量	30日当たり必要量
3~5歳男性	1,300kcal	39,000kcal
8~9歳女性	1,700kcal	51,000kcal
12~14歳男性	2,600kcal	78,000kcal
15~17歳女性	2,300kcal	69,000kcal
18~29歳男性	2,650kcal	79,500kcal
18~29歳女性	1,950kcal	58,500kcal
30~49歳男性	2,650kcal	79,500kcal
30~49歳女性	2,000kcal	60,000kcal
50~69歳男性	2,450kcal	73,500kcal
50~69歳女性	1,900kcal	57,000kcal

注) エネルギー必要量は、身体活動レベルII(ふつう)の数値である。

京都市内に住む20代単身者の食費は以下のように算定した。

まず、朝食および夕食については、他の地域における生活実態調査から、朝食については「家でしっかり食べる」、夕食については、「家でひとりで食べる」が最も多かったので、京都市でも同様に家で食べるものとした。

昼食については、「弁当やパンを買う」が28.6%で最も多く、次いで「家から弁当」の24.3%であった。また、男女別にみみると、男性は「職場の食堂」が31.4%で最も多く、次いで「弁当やパンを買う」が26.5%、「給食」が20.1%であったのに対して、女性は「弁当持参」が多数

派で36.2%であったが、「弁当やパンを買う」が30.4%、「給食」が22.2%と、5割以上は昼食にお金を払っていた。ここから昼食については、男性については、コンビニなどで「弁当やパンを買う」ものとし、女性は月の10日間はコンビニなどで「弁当やパンを買い」、残りの10日間は「家から弁当」を持参するものとした。なお、「弁当やパンを買う」費用については、調査結果から20代の平均額=528円よりもやや低い500円と設定した。

仕事の後や休日にお酒や会食をする回数は、実態調査では、最も多いのが「月1~2回」で35.7%、次いで「月3~4回」の32.0%、「週に1~2回」の18.7%と続いていた。他の地域と比較すると、飲み会や会食の頻度が高い傾向が見られた。また、男女別にみみると、男性は「月1~2回」=35.3%、「月3~4回」の27.9%、「週に1~2回」の18.1%と続くのに対して、女性は「月1~2回」=36.2%、「月3~4回」の35.7%、「週に1~2回」の19.3%と、大きな男女差は見られなかった。これらの結果を踏まえて、飲み会や会食については、男性女性ともに月2回とした。その費用の平均額は約4,300円であったが、全体の分布状況から判断して1回3,700円とした。

30~50代の子育て世帯に関しても20代と同様の手法で判断しつつ、各人がすべて家で食事をしているのではなく、実際には、食事の一部に外食(会食や学校給食など)が含まれているし、食べ残しもあるので、このことを考慮しなければならない。そこで、朝食・昼食・夕食について、生活実態調査の結果、それぞれどこでどのような食事の仕方をしているのかにもとづいて食料費を計算した。昼食に自宅から弁当を持参する場合は家で食事をしたものとし、外食(職場の食堂利用や弁当購入などを含む)については、コンビニ弁当を購入するものとしてエネルギー量と費用を設定した。また、仕事の帰りや休日のお酒や会食については、その典型的な内容とエネルギー量を設定し、生活実態調査の結果から、その回数と費用にもとづいて算定した。給食についても、幼稚園・小学校・中学校における給食のエネルギー量と費用を調べて計算した。なお、家での食事の場合、食べ残しの廃棄率を5%と想定した。こうして、最終的に1カ月(30日分)の食料費を求めた。

#### 年代・世帯ごとの食料費のまとめ

	20代単身世帯		30代	40代	50代
	男性	女性			
食費	44,441	35,347	112,881	128,228	138,407
家での食事	25,754	21,854	86,382	100,131	107,722
外食・昼食	10,000	5,000	15,180	15,590	13,300
外食・会食	7,400	7,400	7,000	7,500	12,000
廃棄分	1,288	1,093	4,319	5,007	5,385

1 年間収入階層が高くなるほど、より高級な食材を使ったり贅沢品を食べたりするために、消費単価が高くなると思われる。食料費の最低限を、最も安価に必要な栄養を摂取できるところで決めるべきとするならば、年間収入の最も低い第I五分位階層により消費単価を算出することが妥当であろう。

## (2) 生活費

住居費については、民間借家を想定して試算した。居住面積については、国土交通省「住生活基本計画（全国計画）」（2011年3月15日閣議決定、計画期間は2010年度から2020年度）による「最低居住面積水準」にもとづき、「20代単身者モデル」25㎡、「30代夫婦と未婚子2人世帯モデル」（以下、30代世帯モデルと略記する場合あり）42.5㎡、「40代夫婦と未婚子2人世帯モデル」（以下、40代世帯モデルと略記する場合あり）47.5㎡、「50代夫婦と未婚子2人世帯モデル」（以下、50代世帯モデルと略記する場合あり）50㎡とした。

家賃については、20代単身者の生活実態調査では、20～30代が賃貸している物件の家賃は5万円台～6万円台に集中していた（平均約54,300円）。このことを参考にしながら、京都市北区で北大路駅まで徒歩10～15分圏内の民間賃貸アパートについて住宅情報誌等も用いて市場調査を行った。調査の結果では、単身用住宅として、25㎡の民間賃貸アパート・マンション（間取り1DKor1K）では、家賃が最低で32,000円、最高が69,000円であった。これらの事実から、家賃は比較的物件数が多い中での最低価格40,000円（築35年）とした。

また、更新料については、生活実態調査によると、約半数が回答しており、平均額は約44,300円であった。このことから、更新料は2年家賃1ヶ月分40,000円（月当たり1,667円）とした。

30代～50代世帯モデルの場合についても基本的に同様の考え方としながら、京都市伏見区にある民間賃貸住宅の家賃をインターネットの「不動産・住宅サイト」により調査したところ、下記のとおりであった。「築34年以下」としたのは、建築基準法による現在の耐震基準が1981年6月1日に導入されたことを考慮したためである。

**20代世帯の住居費 合計 41,667円**（内訳は上記）

**30代世帯の住居費 合計 63,542円**

42.5㎡～45㎡の民間賃貸アパート・マンション（間取り2LDK・3DKで430件該当）では、家賃の最低が5.5万円、最高が8.5万円、大半は6万円台～7万円台であった。下から3割を目安にして1ヶ月の家賃を61,000円とした（更新料は2年に1回として1ヶ月分の家賃を支払うものとして、月当たり2,542円）。

**40代世帯の住居費 合計 67,708円**

47.5㎡～50㎡の民間賃貸アパート・マンション（間取り3DKで143件該当）では、家賃の最低5.7万円、最高が8.2万円、大半は6万円台～7万円台であった。下から3割を目安にして1ヶ月の家賃を65,000円とした（更新料は2年に1回として1ヶ月分の家賃を支払うものとして、月当たり2,708円）。

**50代世帯の住居費 合計 69,792円**

50㎡～55㎡の民間賃貸アパート・マンション（間取り3DKで646件該当）では、家賃の最低5.8万円、最高が8万円、大半は6万円台～7万円台であった。下から3割を目安にして1ヶ月の家賃を67,000円とした（更新料は2年に1回として1ヶ月分の家賃を支払うものとして、月当たり2,792円）。

なお、共益費（管理費）は、「その他」の「交際費・その他」に計上している。

## (3) 光熱・水道費

光熱・水道費については、総務省「平成26（2014）年全国消費実態調査」（5年に1回の調査）を用い、2018年12月時点における「京都市消費者物価指数」を考慮して算定する。

20代単身者については「平成26年全国消費実態調査」（単身者世帯のうち勤労者世帯、30歳未満）より、30代～50代世帯モデルの場合には、「平成26年全国消費実態調査」（二人以上世帯のうち勤労者世帯）より、世帯類型別・年間収入階級別の1世帯当たり1カ月間の光熱・水道費（全国）および京都府の同じ世帯類型別1世帯当たり1カ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した。

内訳 資料P37～48

## (4) 家具・家事用品費、被服及び履物費など

家具・家事用品、被服及び履物、教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品、理美容用品、身の回り用品などは、持ち物財調査にもとづいて、原則7割以上の保有率の物を最低限必要な必需品と考え、それぞれの費目ごとに積み上げて算定した。7割以上を原則とする（いいかえれば、7割未満でも必需品とする場合がある）のは、以下の理由による。持ち物財によっては、代替品が多く、保有率が7割に達しない場合がある。例えば、ストーブの場合、電気ストーブ・石油ストーブ・ガスストーブに保有が分散し、いずれも7割に達しないが、これらを合計すると7割を超えている。あるいは電気ポットの保有率は7割に達しないが、「やかん」を合わせると10割に達している。このような場合には、その中の最も保有率の高いもの、あるいは合意形成会議での聞き取りなどにより特定したものを必需品としている。さらに、本箱・本棚、目覚まし時計、砂糖入れ、小学生用のランドセルなどで、保有率が7割に達しない場合でも、当該世帯モデルで当然保有していると考えられるものは、合意形成会議の検討を経て、必需品として算定した。

持ち財の使用年数については、国税庁「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表（耐用年数表）およびクリーニング事故賠償問題協議会「クリーニング事故賠償基準」（2015年4月1日改訂、10月1日施行、以下、「基準」と略記）の「平均使用年数」を参考にした。なお、「平均使用年数」は、同じ品目でも品種や用途等が異なる場合、原則として長い年数を、素材が異なる場合、「その他」の年数を用いた。

持ち物財のうち、被服・電化製品・家庭雑貨等の主な購入先について、生活実態調査に基づき想定した。これによれば、世帯類型により多少の違いは認められるが、最も多いのが、「大手ス

ーパー・量販店」(40%~50%)。次いで「専門店」や「近くの商店街」等であった。したがって、京都市内の「大手スーパー・量販店」で2019年5月と11月に価格調査を実施した。

価格調査は、各必需品についてその店の最低価格、最多・標準価格、最高価格を調べた(同種の品目について複数の店舗で価格を調査した場合は、それらの平均価格を用いた)。当該品目が調査対象の店で販売されていない場合は、ネット通販等で価格を調査した。被服・履物・自転車など大人用と子ども(幼児と小学生)用で異なる品目については、子ども用品の価格を調べた。

被服・履物・身の回り用品のうち、礼服・背広・オーバーコート・ジャケット・フォーマルドレス・ワンピース・靴・ブーツ・ネクタイ・財布・腕時計(大人用のみ)・イヤリング・ピアスなどの外出用品目の価格については、「人前に出て恥をかかないように」最低価格を避けて、最多・標準価格を、それ以外の品目については、最低価格を用いて試算した。日刊新聞については、京都地域で購読世帯が過半を占める京都新聞の価格(朝夕刊セット4,037円)を、書籍については、統計資料に掲載されている平均価格を用いた。なお、年1回、クリーニングに出す被服を、男性用の背広・オーバーコート、女性用のフォーマルドレス・ワンピース・オーバーコートとし、料金は1着1,080円とした。

持ち物財の数量(消費量)については、原則として、少ないほうから数えて合計3割の人が保有する数を算定基準とした<sup>2</sup>。ただし、データの30代~50代世帯の人数は、当該世帯モデルの人数(4人)より少ない場合も含まれているため、この算定基準では数量が過少となることがある(たとえば、4人分の敷き布団が必要なのに3人分と算定されてしまう)。したがって、明らかに数量が過少な品目については、世帯モデルに照らして修正した。

また、持ち物財の品目によっては、大人用と子ども用で価格にかなり差がある。しかし、持ち物財調査では、大人用と子ども用に区別して数量を調べていないので、当該品目の数について、世帯モデルの家族構成も考慮しつつ、大人と子ども(幼児と小学生)の人数を案分比例してそれぞれの数量を求めた(整数にならない場合は、原則として、大人用の数を切り捨て、子ども用の数を切り上げた)。

**20代世帯の家具・家事用品費 合計 男性=3,836円 女性=3,922円**

**20代世帯の被服・履物費 合計 男性=5,921円 女性=4,247円**

\*クリーニング代

男性=背広2着・礼服1着・オーバーコート1着分のクリーニング代を想定した(1着=1,080円)。

1着1,080円×4/12=月額360円

女性=ワンピース2着・フォーマルドレス1着・オーバーコート2着分のクリーニング代を想定した(1着=1,080円)。

1着1,080円×5/12=月額450円

2 30代~50代世帯(回答者)のほとんどが「正規職員・従業員」であり、非正規従業員に比べて平均収入が高いため、持ち物財の数量も多いと思われる。このことを修正するために、「下から3割」の数量を算定基準とした。また、貧困率の指標の一つである相対的貧困率も等価可処分所得の中央値の半分を貧困線としており、この点からも「下から3割」を算定基準とすることに妥当性がある。なお、回答者の多数が非正規従業員の場合には、「下から3割」でなく、たとえば、平均値や最頻値などを基準に算定すべきと考える。

**30代世帯の家具・家事用品費 合計 11,520円**

**30代世帯の被服・履物費 合計 13,095円**

\*クリーニング代

背広(2)・礼服(1)・フォーマルドレス(1)・ワンピース(2)・オーバーコート(2)の計8着分のクリーニング代(1着1,080円)を想定した。

1,080円×8着÷12カ月=月額720円

**40代世帯の家具・家事用品費 合計 13,200円**

**40代世帯の被服・履物費 合計 13,538円**

\*クリーニング代

背広(3)・礼服(1)・フォーマルドレス(1)・ワンピース(2)・オーバーコート(2)の計9着分のクリーニング代(1着1,080円)を想定した。

1,080円×9着÷12カ月=月額810円

**50代世帯の家具・家事用品費 合計 13,544円**

**50代世帯の被服・履物費 合計 17,413円**

\*クリーニング代

背広(4)・礼服(1)・フォーマルドレス(2)・ワンピース(3)・オーバーコート(3)の計13着分のクリーニング代(1着1,080円)を想定した。

1,080円×8着÷12カ月=月額1,170円

## (5) 保健医療費

20代単身者の保健医療費の算定は、総務省「平成26年全国消費実態調査」の単身世帯のうち勤労世帯の「男女別、年齢階級別支出(30歳未満)、近畿地方の平均」を用いた。

30~50代の保健医療費については、生活実態調査で医療費(病院での窓口負担や医薬品の購入費、年額)を尋ねており、各年代の平均額(月額)は、30代世帯=8,397円、40代世帯=11,814円、50代世帯=11,960円であった。ここで平均額を用いたのは、「下から3割」のルールを適用することによって、医療におけるナショナル・ミニマムを達成することが困難になる可能性があるからである。また持ち物財調査で体重計や救急箱などの「保健医療用品」の保有の有無・数量を尋ねており、その結果も加える。

**20代世帯の保健医療費 合計 男性=1,137円 女性=2,733円**

**30代世帯の保健医療費 合計 8,440円**

**40代世帯の保健医療費 合計 11,857円**

**50代世帯の保健医療費 合計 12,003円**

## (6) 交通・通信費

内訳 資料P48~49

20代単身者の通信費については、総務省「平成26年全国消費実態調査」の単身世帯のうち、勤労世帯の「男女別、年齢階級別支出（30歳未満）、中国地方の平均」によると、男女の加重平均額は8,039円であった。

2018年12月時点での通信費の物価上昇率は、2014（平成26）年に比べ1.7%減であることから、年間で8,039円×0.983≒7,902円とした（男女共通）。

また、「生活実態調査」では、自動車の必要性について「必需品」と答えた割合は23.5%で、「あれば便利」が最も多く38.8%であった。また、職場までの交通手段で最も多かったのは「自転車」（37.9%）で、「自家用車」は「公共交通機関」とともに2割弱にとどまった。よって、自動車の所有は想定しなかった。その代わりに、最寄りの駅までの通勤や買い物等に利用するだろうということで自転車を所有させることにした。

また通勤定期代として、北大路駅から京都駅まで3ヵ月定期30,780円、1ヵ月当たり10,260円とした。<sup>3</sup>

小計 10,710円

**20代世帯の交通・通信費 合計 18,612円**

30～50代世帯の交通費のうち、自宅から勤務先までの費用は通勤手段によって大きな違いが生ずる。持ち物財調査で30～50代世帯のいずれの世代でも自家用車の所有率（軽自動車+小型自動車+普通自動車の合計）が10割超であった（つまり、1世帯に1台以上所有）。また、自家用車を「生活の必需品」とする回答が30～40代世帯で7割を超え、50代でも約65%であったため、子育て世帯では自動車を必需品とした。なお、世帯モデルの妻がパートタイマーとして勤務している場合の通勤手段は、徒歩ないし自転車とした。

自動車の種類と保有率を年代別にみると、30代で軽自動車（660cc以下）の保有率が33.6%、小型自動車（660超2000cc以下）18.1%、普通自動車（2000cc超）51.1%、40代で軽自動車の保有率が34.5%、小型自動車22.9%、普通自動車57.2%、50代で軽自動車の保有率が37.6%、小型自動車33%、普通自動車44%で、普通自動車の所有率が最も高かった。しかし、合意形成会議の結果、車体価格や維持費等を考慮して、30～50世帯の各モデル共通で小型自動車1台の保有とした。

自動車関係費の試算に際しては、中古乗用車を取得するものとし、購入時点の使用済み年数は7年、購入後の使用年数を6年（ただし、購入後3回目の車検直前に手放す）とした。「使用済み年数を7年、使用年数を6年」としたのは、一般社団法人自動車検査登録情報協会「車種別の平均使用年数推移表」と軽自動車検査協会「軽自動車の平均使用年数推移表」によれば、普通乗用車の平均使用年数が12.53年（2015年3月末）、軽乗用車の平均使用年数が14.03年（2015年）であること、乗用車の場合、新車登録から初回車検の有効期間が3年間、2回目以降の車検

有効期間が2年間であることを考慮したためである。

中古乗用車の取得価格については、インターネットのWebサイトで上記の条件を満たすと思われる京都市内で購入できる車の販売価格を調べた。

自動車を購入すれば、消費税をはじめ取得税、重量税や自動車税・軽自動車税、自賠責保険料がかかるし、車検料金などの整備費用も必要となる。整備費用については、Webサイトや自動車整備工場に対する価格調査等にもとづき算定した。自動車保険（任意保険）についても、契約内容を想定して、Webサイトの調査結果にもとづき設定した。さらに、賃貸住宅に居住して自家用車を保有する場合、通常駐車場代がかかる。生活実態調査によれば、30代～50代世帯で駐車場代を答えているものは計127世帯で、その1ヵ所当たりの駐車場代の分布をみて月額5,000円とした。加えて、ガソリン代についても、生活実態調査により1世帯当たりのガソリン代の分布をみて月額10,000円とした。

京都市在住の子育て世帯（各年代共通）：6年間の走行距離＝約70,000km

※月走行距離＝968km（燃費15km/L、155円/Lで月10000円）で年間走行距離＝11,616km

それぞれに、ガソリン代10,000円、駐車場代5,000円を加えると、

**30代世帯の自動車関係費 36,555円**

**40代世帯の自動車関係費 36,149円**

**50代世帯の自動車関係費 37,609円**

さらに、子どもの通学（園）手段と費用については、以下のように想定した。

・幼稚園児：親が徒歩ないし自転車で送る。

・小・中学生：徒歩

・高校生：自転車通学

・大学生：自転車+電車通学。3ヵ月分の定期代＝30,470円（1ヵ月当たり10,157円）。

買い物など通勤・通学以外の交通費については、各世帯モデルが自動車や自転車を保有していることから、特に計上しないこととした。

**30代世帯の交通費 小計 36,555円+1,116円＝37,671円**

**40代世帯の交通費 小計 36,149円+1,566円＝37,715円**

**50代世帯の交通費 小計 37,609円+10,157円+1,667円＝49,433円**

通信費については、(3) 光熱・水道費と同様に、総務省「平成26（2014）年全国消費実態調査」を用い、2018年12月時点における「京都市消費者物価指数」を考慮して算定する。

30代～50代世帯モデルの場合、「平成26年全国消費実態調査」（二人以上世帯のうち勤労者世帯）より、世帯類型別・年間収入階級別の1世帯当たり1ヵ月間の通信費（全国）および京都府の同じ世帯類型別1世帯当たり1ヵ月間の当該支出額を用いて年収別に推計した。

<sup>3</sup> 一般的には、正規従業員には「通勤手当」が支給される場合が多い。その場合には、通勤定期代は最低生計費に含まれなくなり、通信・交通費からは10,260円分が減額される。

30代世帯の通信交通費	合計	53,185円
40代世帯の通信交通費	合計	53,707円
50代世帯の通信交通費	合計	65,847円

30代世帯の教育費	合計	28,097円
40代世帯の教育費	合計	38,875円
50代世帯の教育費	合計	127,847円

## (7) 教育費

内訳 資料P 50

20代単身者については、教育費は計上しない。

子どもの教育を以下のように試算した。まず、幼稚園児から高校生の教育費については、文部科学省「平成28（2016）年度子供の学習費調査」（隔年調査）にもとづき算定する。学年（年齢）別学習費支出状況の結果から、次の条件を満たす「支出者平均額」（各経費を支出した者の平均額）を積算して求めた。①支出率（各経費を支出した者の比率）が原則7割以上（例外65%超）の費目を算定する。②制服を除き、対象学年層（年齢層）のうち過半数の年齢区分で支出率が原則7割未満（例外65%以下）の費目は算定から外す（たとえば、3～5歳であれば2つ以上の年齢区分で原則7割以上の支出率でなければ算定から外す。小学3・4年であれば両学年とも原則7割以上の支出率でなければ算定から外す）。制服は1年時にかかった費用の3分の1とした。③「給食費」・「通学費」・「スポーツ・レクリエーション活動」・「教養・その他」費目は、支出率が原則7割以上であっても、食費や交通費あるいは教養娯楽費などで算定するので、教育費から外す。④傘や雨かっぱなどの「通学用品費」・家庭内学習費の「物品費」なども、身の回り用品や家具・家事用品費などと重複する場合には、算定から外す。

なお、文部科学省「子供の学習費調査」では各費目の細かな内訳の支出率や金額が不明のため、教育費の推計は概算とならざるを得ない。よって、その推計に際しては、物価指数を加味して調整せずに2016年度調査の費用をそのまま計上する。

幼稚園（私立）	月当たり	= 25,139円
小学生（公立・中学年）	月当たり	= 2,958円
中学生（公立）	月当たり	= 35,917円
高校生（公立）	月当たり	= 18,139円

大学生の教育費は、日本学生支援機構『平成28（2016）年度学生生活調査』（隔年調査）を用いる。自宅から私立大学の昼間部に通う大学生では、授業料1,022,200円、その他学校納付金146,200円、修学費44,200円、課外活動費30,100円である（通学費については、交通費のほうに計上する）。すなわち、年額の大学生の教育費は、1,242,700円となる。ただし、この調査では、入学金（料）が除外されているので、文部科学省「平成28（2016）年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額の調査結果について」より、授業料に対する入学料の比率を求めて（28.9% ÷ 4年 = 7.22%/年）、それに対応する金額を入学金として加算すると、月当たり109,708円となる。

## (8) 教養娯楽費

内訳 資料P 51～52

教養娯楽費として、教育娯楽耐久財、教養娯楽用品、教養娯楽サービスなどの費用、NHK受信料、インターネット接続料を計上する。

教育娯楽耐久財、書籍・他の刊行物、教養娯楽用品の費用、教養娯楽サービス費については、生活実態調査の結果をふまえ、合意形成会議での検討を経て、日帰り行楽の回数と費用、1泊以上の旅行の回数と費用、休日（余暇）の過ごし方にもとづいて算定する。

NHK受信料は、月額1,260円（地上契約、消費税込）、インターネット接続料は、月額3,579円（消費税込）とした。

20代世帯の教養娯楽費	合計	男性 = 27,510円	女性 = 27,531円
30代世帯の教養娯楽費	合計	= 26,192円	
40代世帯の教養娯楽費	合計	= 26,702円	
50代世帯の教養娯楽費	合計	= 28,879円	

## (9) その他の消費支出

内訳 資料P 52～55

その他の消費支出として、理美容用品と理美容サービス費、身の回り用品費、交際費・その他、自由裁量費を計上する。

### 1) 理美容用品費

ヘアドライヤー・歯ブラシ・石鹸・化粧品などの理美容用品費については、(4)で述べた方法により算定した。

20代世帯の理美容用品費	小計	男性 1,726円、女性 5,317円
30代世帯および40代世帯の理美容用品費	小計	7,082円
50代世帯の理美容用品費	小計	7,102円

### 2) 理美容サービス費

理髪料など理美容サービス費については、京都市内の理容店および美容院組合に所属している理美容店の価格調査、各世代への聞き取り調査、Webサイトに提供されている理美容利用に関する調査をふまえ、合意形成会議を経て、以下のように利用頻度と価格を算定した。

《男性》20代：2ヵ月に1回の利用、1回4,000円（月当たり2,000円）  
 30代以上：2ヵ月に1回の利用、1回2,000円（月当たり1,000円）  
 大学生：2ヵ月に1回の利用、1回4,000円（月当たり2,000円）  
 中学生：2ヵ月に1回の利用、1回2,000円（月当たり1,000円）  
 幼 児：2ヵ月に1回の利用、1回1,000円（月当たり500円）

《女性》20代：3ヵ月に1回の利用、1回8,000円（月当たり2,667円）  
 30代以上：3ヵ月に1回の利用、1回12,000円（月当たり4,000円）  
 高校生：2ヵ月に1回の利用、1回3,000円（月当たり1,500円）  
 小学生：3ヵ月に1回の利用、1回2,000円（月当たり667円）

20代世帯の理美容サービス費 小計 男性 2,000円、女性 2,667円  
 30代世帯の理美容サービス費 小計 6,167円  
 40代世帯の理美容サービス費 小計 6,667円  
 50代世帯の理美容サービス費 小計 8,500円

### 3) 身の回り用品費

傘・かばん・財布・時計などの身の回り用品費については、(4)で述べた方法により算定した。

20代世帯の身の回り用品費 小計 男性 687円 女性 896円  
 30代世帯の身の回り用品費 小計 2,121円  
 40代世帯の身の回り用品費 小計 2,174円  
 50代世帯の身の回り用品費 小計 2,169円

### 4) 交際費・その他

交際費・その他については、生活実態調査結果をふまえ、合意形成会議を経て、各世帯で以下のように算定した。

#### ①親戚や友人の結婚式・お葬式・法事への参加回数と費用

- ・20代世帯（結婚式2回、男性 計8万円、月当たり6,667円、女性 計9万円、月当たり7,500円）
- ・30代世帯モデル（結婚式1～2回、計5万円、月当たり4,167円）
- ・40代世帯モデル（葬式・法事が年に1回、計2万円、月当たり1,667円）
- ・50代世帯モデル（結婚式と葬式・法事1年に1回ずつ、計5万円、月当たり4,167円）

#### ②親戚やお世話になった人などへのお中元やお歳暮の軒数と費用

- 生活実態調査結果によれば、
- ・20代世帯モデル（贈らない）
  - ・30代世帯モデル（贈らない）

- ・40代世帯モデル（贈らない）
- ・50代世帯モデル（年間4軒×5,000円で計2万円、月当たり1,667円）

#### ③家族・親戚などへの見舞金・せん別・お年玉・誕生日・クリスマス・バレンタイン等の費用

生活実態調査の結果をもとに合意形成会議での話し合いにより、

- ・20代世帯モデル（平均よりやや多い計5万円、月当たり4,167円）
- ・30代世帯モデル（平均よりやや少ない計4万円、月当たり3,333円）
- ・40代世帯モデル（平均よりやや少ない計5万円、月当たり4,167円）
- ・50代世帯モデル（平均よりやや多い計5万円、月当たり4,167円）

#### ④住宅関係費として共益費（管理費）を算定した。

生活実態調査結果から、20代～50代世帯モデル共通で、共益費（管理費）を月額3,000円とした。

#### ⑤忘年会や新年会、歓送迎会への参加回数と費用

- 忘・新年会や歓送迎会（昨年）について、生活実態調査結果をみると、
- ・20代世帯モデル（年間3回、1回5,000円の費用で計1.5万円、月額1,250円）
  - ・30代～40代世帯モデル（年間3回、1回5,000円の費用で計1.5万円、月額1,250円）
  - ・50代世帯モデル（年間2回、1回5,000円の費用で計1万円、月額833円）

#### ⑥本人または夫の労働組合費（月額）として所得（所定内給与：月額）の1%を目安に、20代世帯モデル2,100円、30代世帯モデル2,800円、40代世帯モデル3,300円、50代世帯モデル3,600円と算定した。妻は各年代共通で1,000円とした。

#### ⑦町内会・自治会費については、その会費は聞き取り調査から、20代単身者については計上せず、30～50代世帯については、年額4,800円に加えて、年に1度の地蔵盆の費用2,000円を計上した（月額567円）。

#### ⑧その他会費として、夫婦それぞれ（20代は本人のみ）年間3,000円（月額500円）。

20代世帯の交際費その他 小計 男性 17,434円 女性 18,267円  
 30代世帯の交際費その他 小計 16,617円  
 40代世帯の交際費その他 小計 15,451円  
 50代世帯の交際費その他 小計 19,501円

### 5) 自由裁量費

自由裁量費（＝こづかい）については、これまでの算定では計上しなかった教養娯楽費としての切り花代やオーディオ関係など、また、飲食費としての喫茶店でのコーヒー代などを、こづかいとして一括してここに計上した。これは、持ち物財調査では保有率が分散していて7割には満たないが、個々人の趣味など、価値の多様性を考慮したものとして、20代単身者、夫婦それぞ

れは月6,000円を計上した。また、子どもについては、金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査〔二人以上世帯調査〕（平成30（2018）年）」（各種分類別データ）の親の年代別こづかい平均額を参考に、大学生は月6,000円、高校生は月5,000円、中学生は月2,500円、小学生は月1,000円、幼稚園児は月500円とする。

20代世帯の自由裁量費	合計	6,000円
30代世帯の自由裁量費	合計	13,500円
40代世帯の自由裁量費	合計	15,500円
50代世帯の自由裁量費	合計	23,000円

よって、各世帯モデルのその他の消費支出の合計は、

20代世帯のその他の消費支出	合計	男性	27,847円	女性	33,147円
30代世帯のその他の消費支出	合計	45,487円			
40代世帯のその他の消費支出	合計	46,874円			
50代世帯のその他の消費支出	合計	60,272円			

## (10) 非消費支出

○20代単身者の計算

### 1) 所得税

4月分の給与を210,000円とすると、国税庁『平成30年4月以降分 源泉徴収税額表』より、**3,980円**。これにボーナスに対する分（月額1,310円）を加算すると、**5,290円**

### 2) 住民税

#### ①住民税の所得割額の求め方（府民税＝2％、市民税＝8％）

住民税が課税される所得金額は以下のように求める。

$$\text{給与所得} = 282\text{万円} \times 70\% - 18\text{万円} = 1,794,000\text{円}$$

$$\text{給与所得} - (\text{社会保険料控除} + \text{基礎控除}) = 1,794,000\text{円} - (424,764\text{円} + 33\text{万円}) = 1,039,236\text{円}$$

市民税（税率8％）は、

$$1,039,236\text{円} \times 8\% \div 83,138\text{円}$$

府民税（同2％）は、

$$1,039,236\text{円} \times 2\% \div 20,784\text{円}$$

ここからそれぞれ調整控除額を差し引き、100円未満を切り捨てると、

$$\text{市民税は、} 83,138\text{円} - 2,000\text{円} \div 81,100\text{円}$$

$$\text{府民税は、} 20,784\text{円} - 500\text{円} \div 20,200\text{円}$$

#### ②住民税の均等割額の求め方

住民税の均等割額は、下表のように定められている。

市民税	3,500円
府民税	2,100円

したがって、住民税額（年額）は、81,100円+20,200円+3,500円+2,100円=106,900円となり、1か月当たりでは**8,908円**となる。

### 3) 社会保険料

#### ①厚生年金保険料率＝18.3％（うち労働者分＝9.15％）

→標準報酬月額220,000円では、20,130円が本人負担分

#### ②協会けんぽ（京都府）保険料率＝10.02％（うち労働者分＝5.01％）

→標準報酬月額220,000円では、11,022円が本人負担分

#### ③雇用保険料率（失業給付分）＝0.9％（うち労働者分＝0.3％）

→月収を210,000円とすると、630円が本人負担分

したがって、1ヶ月の給与に対する社会保険料負担は、20,130円+11,022円+630円=31,782円となり、×12ヶ月分=381,384円となる。これにボーナス分43,380円を加えると**424,764円**となる（月あたり**35,397円**）。

○30～50代世帯の計算

### 1) 夫の賃金

各家族モデルの非消費支出（社会保険料と税額）を算出するには、それぞれの夫の収入がわかっているなければならない（夫以外の家族構成員は、夫の扶養家族）。年代別の夫（正規従業員）の収入は、「平成30年賃金構造基本統計調査 都道府府別第1表 年齢階級別きまって支給する現金給与額、所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額」より、一般労働者、男性、企業規模10-99人、100-999人の単純平均により推計した。

30代の夫：月収（所定内給与額）28万円、一時金（賞与その他特別給与額）74万円、年収410万円

40代の夫：月収（所定内給与額）33万円、一時金（賞与その他特別給与額）93万円、年収489万円

50代の夫：月収（所定内給与額）36万円、一時金（賞与その他特別給与額）104万円、年収536万円

以上の夫の収入をもとに、社会保険料と税額を算定する。

## 2) 社会保険料 (年金・健康・雇用保険料)

夫以外の家族構成員は夫の扶養家族であるから、社会保険料負担が生じるのは夫と20歳以上の大学生 (国民年金保険) である。

### ①年金 (厚生年金と国民年金) 保険料

厚生年金保険料額表 (2018年9月分適用) より、厚生年金保険料率は18.3% (うち労働者負担分=9.15%) で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料 (年) は下記の通りである。なお、一時金 (ボーナス) の保険料は、一時金額 (1,000円未満切り捨て) に保険料率を乗じた額である。また、大学生の場合、20歳になると、国民年金保険料の納入義務が生じる (ここでは、学生納付特例制度を利用しないものとし、大学生は20歳または21歳とする)。2018年度国民年金保険料は月額16,340円である。

30代世帯モデル：標準報酬月額280,000円、保険料 (年) = 25,620円 × 12カ月 = 307,440円、一時金分の保険料 (年) 67,710円、計375,150円

40代世帯モデル：標準報酬月額330,000円、保険料 (年) = 31,110円 × 12カ月 = 373,320円、一時金分の保険料 (年) 85,095円、計458,415円

50代世帯モデル：標準報酬月額360,000円、保険料 (年) 32,940円 × 12カ月 = 395,280円、一時金分の保険料 (年) 95,160円、大学生の国民年金保険料 (年) = 16,340円 × 12カ月 = 196,080円、計686,520円

### ②健康保険料

全国健康保険協会 (協会けんぽ) の健康保険料額表 (京都府、2018年3月分~適用) により、健康保険料率は10.02% (うち労働者負担分=5.01%) と11.59% (40歳以上65歳未満は介護保険料を含む、労働者負担分=5.795%) で、各世帯モデルの標準報酬月額と労働者負担分の保険料 (年) は下記の通りである。なお、一時金 (ボーナス) の保険料は、一時金額 (1,000円未満切り捨て) に保険料率を乗じた額である。

30代世帯モデル：標準報酬月額280,000円、保険料 (年) = 14,028円 × 12カ月 = 168,336円、一時金分の保険料 (年) 37,074円、計205,410円

40代世帯モデル：標準報酬月額330,000円、保険料 (年) = 19,703円 × 12カ月 = 236,436円、一時金分の保険料 (年) 53,893円、計290,329円

50代世帯モデル：標準報酬月額360,000円、保険料 (年) 20,862円 × 12カ月 = 250,344円、一時金分の保険料 (年) 60,268円、計310,612円

### ③雇用保険料

2018年度の雇用保険料率は0.9% (うち労働者負担分=0.3%) で、保険料は賃金総額 (年収) に保険料率を乗じた額である。よって、各世帯モデルの労働者負担分の保険料は下記の通りである。

30代世帯モデル：保険料 (年) 12,300円、

40代世帯モデル：保険料 (年) 14,670円、

50代世帯モデル：保険料 (年) 16,080円、

④社会保険料の合計額 (年) は、下記の通りとなる。

30代世帯モデル：592,860円、40代世帯モデル：763,414円、50代世帯モデル：1,013,212円 (大学生の国民年金保険料を含む)

## 3) 税 (所得税・住民税) 額

夫以外の世帯構成員は夫の扶養家族であるから、税 (所得税と住民税) 負担が生じるのは夫のみである。

### ①所得税

所得税額は、夫の年収 (給与) から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料控除・配偶者控除 (38万円)・扶養控除 (38万円、特定扶養親族は63万円)・基礎控除 (38万円) を差し引いた金額に税率 (5%~45%) を乗じた額から一定額 (0円~4,796,000円) を差し引いた額である。ここでは、社会保険料控除・配偶者控除・扶養控除・基礎控除以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・控除対象扶養親族 (16歳以上)・特定扶養親族 (19歳以上23歳未満) に該当するものとする。なお、復興特別所得税額として、基準所得額 (ここでは所得税額) に2.1%の税率を乗じた額が加算される (復興特別所得税は、2013年1月1日~2037年12月31日の25年間課税、税額の計算方法は、国税庁のWebサイトによる)。各世帯モデルの所得税額と復興特別所得税額は下記の通りである。

30代世帯モデル：夫の年収4,100,000円の場合、給与所得金額は2,740,000円、所得控除額 = 社会保険料 (592,860円) + 配偶者控除 (380,000円) + 基礎控除 (380,000円) = 1,352,860円、

給与所得金額2,740,000円 - 所得控除額1,352,860円 = 1,387,140円 = 1,387,000円

所得税額 = 1,387,000円 × 税率0.05 = 69,350円

復興特別所得税額 = 所得税額69,350円 × 0.021 = 1,456.35円 = 1,456円、

計70,806円

40代世帯モデル：夫の年収4,890,000円の場合、給与所得金額は3,370,400円、所得控除額 = 社会保険料 (763,414円) + 配偶者控除 (380,000円) + 基礎控除 (380,000円) = 1,523,414円、

給与所得金額3,370,400円 - 所得控除額1,523,414円 = 1,846,986円 = 1,846,000円

所得税額 = 1,846,000円 × 税率0.05 = 92,300円

復興特別所得税額 = 所得税額  $92,300円 \times 0.021 = 1,938.3円 \div 1.938円$ 、計 94,238円

50代世帯モデル：夫の年収5,360,000円の場合、給与所得金額は3,748,000円、所得控除額 = 社会保険料 (1,013,212円) + 配偶者控除 (380,000円) + 扶養控除 (380,000円 + 630,000円) + 基礎控除 (380,000円) = 2,783,212円、  
給与所得金額3,748,000円 - 所得控除額2,783,212円 = 964,788円  $\div$  964,000円

所得税額 =  $964,000円 \times 税率0.05 = 48,200円$

復興特別所得税額 = 所得税額  $48,200円 \times 0.021 = 1,012.2円 \div 1,012円$ 、計 49,212円

## ②住民税（市民税と府民税）

市民税と府民税は、均等割と所得割からなる。均等割額は所得にかかわらず一定額が課税され、京都市の市民税額は3,500円、京都府の府民税額は2,100円である。

所得割額（2018年度）は、前年中（2017年1月～12月）の夫の年収（給与）から給与所得金額を計算し、そこから社会保険料控除・配偶者控除（33万円）・扶養控除（33万円、特定扶養親族は45万円）・基礎控除（33万円）を差し引いた金額に税率（市民税8%、府民税2%）を乗じた額から調整控除額を差し引いた額である。所得税額の算定と同様に、上記以外に所得控除はなく、寄附金等の税額控除もないものとし、妻・高校生・大学生は、それぞれ控除対象配偶者・控除対象扶養親族（16歳以上）・特定扶養親族（19歳以上23歳未満）に該当するものとする。なお、夫の前年の収入は、2018年と同額として算定する（税額の計算方法は、京都市のWebサイトによる）。各世帯モデルの住民税額は下記の通りである。

30代世帯モデル：夫の年収4,100,000円の場合、給与所得金額は2,740,000円、所得控除額 = 社会保険料 (592,860円) + 配偶者控除 (330,000円) + 基礎控除 (330,000円) = 1,252,860円、

給与所得金額2,740,000円 - 所得控除額1,252,860円 = 1,487,140円  $\div$  1,487,000円

課税所得金額 (1,487,000円) が200万円以下で、所得税と市民税・府民税の人的控除の差額が76万円 - 66万円 = 10万円であるから、

市民税の調整控除額 =  $100,000円 \times 0.04 = 4,000円$ 、

府民税の調整控除額 =  $100,000円 \times 0.01 = 1,000円$ となる。よって、

市民税の所得割額 =  $1,487,000円 \times 0.08 - 調整控除額4,000円 = 114,960円 \div 114,900円$

府民税の所得割額 =  $1,487,000円 \times 0.02 - 調整控除額1,000円 = 28,740円 \div 28,700円$

均等割額（市民税 + 府民税）5,600円、計149,200円

40代世帯モデル：夫の年収4,890,000円の場合、給与所得金額は3,370,400円、所得控除額 = 社会保険料 (763,414円) + 配偶者控除 (330,000円) + 基礎控除 (330,000円) = 1,423,414円、

給与所得金額3,370,400円 - 所得控除額1,423,414円 = 1,946,986円  $\div$  1,946,000円

課税所得金額 (1,946,000円) が200万円以下で、所得税と市民税・府民税の人的控除の差額が76万円 - 66万円 = 10万円であるから、上記30代と同様に、市民税の調整控除額4,000円、府民税の調整控除額1,000円となる。よって、

市民税の所得割額 =  $1,946,000円 \times 0.08 - 調整控除額4,000円 = 151,680円 \div 151,600円$

府民税の所得割額 =  $1,946,000円 \times 0.02 - 調整控除額1,000円 = 37,920円 \div 37,900円$

均等割額（市民税 + 府民税）5,600円、計195,100円

50代世帯モデル：夫の年収5,360,000円の場合、給与所得金額は3,748,000円、所得控除額 = 社会保険料 (1,013,212円) + 配偶者控除 (330,000円) + 扶養控除 (330,000円 + 450,000円) + 基礎控除 (330,000円) = 2,453,212円、

給与所得金額3,748,000円 - 所得控除額2,453,212円 = 1,294,788円  $\div$  1,294,000円

課税所得金額 (1,294,000円) が200万円以下で、所得税と市民税・府民税の人的控除の差額が177万円 - 144万円 = 33万円であるから、

市民税の調整控除額 =  $330,000円 \times 0.04 = 13,200円$ 、

府民税の調整控除額 =  $330,000円 \times 0.01 = 3,300円$ となる。よって、

市民税の所得割額 =  $1,294,000円 \times 0.08 - 調整控除額13,200円 = 90,320円 \div 90,300円$

府民税の所得割額 =  $1,294,000円 \times 0.02 - 調整控除額3,300円 = 22,580円 \div 22,500円$

均等割額（市民税 + 府民税）5,600円、計118,400円

## ③税（所得税と住民税）の合計額（年）は、下記の通りとなる。

30代世帯モデル：220,006円

40代世帯モデル：289,338円

50代世帯モデル：167,612円

# 資料

## (11) 予備費

予備費として、消費支出の1割を計上する。これは、個々人の多様性を考慮したものである。たとえば、エネルギー消費量は、同じ年齢層でも身長や体重によって違いが生じるし、消費支出の内容や額も、心身の健康状態や障害の有無・程度により異なるからである。

### 2019年に新聞報道された記事（一部）

2019年(令和元年)6月12日 水曜日

総評試算 京の25歳単身者

普通の生活月24万円必要

収入	471667円
税金	49441円
家賃	278621円
食費	279750円
交通費	29444円
雑費	245785円
合計	471667円

「府の最低賃金低い」

「京都新聞」6月12日付

京都総評調査

教育費と車維持費重く

普通の生活月48万円

京都市内30代の4人家族で

府がインフル注意報

「毎日新聞」12月19日付

特集 **ワイド**

2019.6.12 毎日夕刊

熱血! 与良 談

与良 正男

病院に行けない若者たち

「毎日新聞」夕刊  
6月12日付

2019年(令和元年)12月6日 金曜日

生活費 年584~850万円必要

教育費も家計圧迫

京の30~50代子育て世代

「京都新聞」12月6日付

子育て世代「ふつうの暮らし」困難

京都総評が最低生計費調査

京都市で「普通に子育てできる生活費」年580万~850万円必要

「しんぶん赤旗」12月6日付

## (1) 食料費の内訳

食糧費に関しては、自宅での食事が健康面を考慮し、必要な栄養バランスが取れることを前提に、P33～P36のような試算を前提にしながら、生活パターンによって昼食を自宅以外でとる場合（下記表3）や、呑み会などの会食費（下記表4）を組み合わせて各人別の必要額を算出している。

表3 コンビニ（スーパー）弁当および各種給食のエネルギー量と金額

	エネルギー量 (1食)	金額 (1食又は月額)	備 考
コンビニ・スーパー弁当	730kcal	20代男女、30～50代男性1食＝500円	20代男性月に20日購入（月当たり10,000円） 20代女性月に12日購入（月当たり6,000円） 30～50代男性月に14日購入（月当たり7,000円）
幼稚園給食	500kcal	月額4,240円	年間実施日数160日（週4回：1日は弁当持参とする）
小学校給食	640kcal	1食240円	実施日数197日（平均月当たり3,940円）
中学校給食			実施日数0日（月当たり0円）
大学生学食	890kcal	1食420円	日替わり定食 年間180日（月当たり6,300円）

注1) 幼稚園給食のエネルギー量は、文部省体育局長通達「幼稚園における給食の実施について」(1961年3月31日)より。  
2) 小学校給食の費用、エネルギー量等は、京都市ホームページ等による。なお、中学校については京都市内の給食の喫食率が30%のため弁当持参とした。

表4 会食（外食）の内容と1回のエネルギー量（夫婦と子ども）

	内 容 ( ) 内の数値は各品目のエネルギー量 (kcal)	エネルギー量 (計)
20代男女 1回3,700円（月に2回） 30代～50代男性 1回4,000円（月に1回）	ほうれん草お浸し（25）、だし巻卵（90）、大豆とひじきの煮物（91）、高野豆腐の含め煮（126）、刺身盛り合わせ（220）、鶏から揚げ（400）、ビール（中ジョッキ2杯：160×3）	1,272kcal
大学生男性 1回2,500円（月に2回）	ほうれん草お浸し（25）、だし巻卵（90）、刺身盛り合わせ（220）、鶏から揚げ（400）、ビール（中ジョッキ2杯：160×2）	1,055kcal
30～50代女性および高校生・中学生 1回1,000円（成人は月に2回、子どもは月に1回）	ハンバーグステーキランチ(712)、レモンティー(140)	852kcal
小学生・幼児 1回500円（月に1回）	キッズカレープレート(600)、オレンジジュース(102)	702kcal

注1) 頻度および1回当たりの費用は、生活実態調査の結果と合意形成会議での議論を踏まえて決めた。

## 20代単身世帯の食費 合計 男性44,442円 女性35,347円

			20代単身世帯	
			25歳男性	25歳女性
第1群	乳・乳製品	必要量	300 g	250 g
		金額	82.98 円	69.15 円
	卵	必要量	50 g	50 g
		金額	15.60 円	15.60 円
第2群	魚介・肉	必要量	140 g	100 g
		金額	271.70 円	194.07 円
	豆・豆製品	必要量	80 g	80 g
		金額	18.07 円	18.07 円
第3群	野菜・海藻	必要量	350 g	350 g
		金額	183.78 円	183.78 円
	いも類	必要量	100 g	100 g
		金額	31.05 円	31.05 円
	果物	必要量	200 g	200 g
		金額	93.15 円	93.15 円
第4群	穀類	必要量	400 g	260 g
		金額	205.29 円	133.44 円
	砂糖	必要量	10 g	10 g
		金額	2.63 円	2.63 円
	油脂	必要量	30 g	20 g
		金額	16.63 円	11.09 円
			920.88 円	752.03 円

参考)：香川明夫監修『食品成分表2018 資料編』（女子栄養大学出版部、2018年）、p76。  
(注) 推定エネルギー必要量の95%で構成

家での食事	熱量	62,356 kcal	48,656 kcal
	金額	25,754 円	21,854 円
昼食・給食	熱量	14,600 kcal	7,300 kcal
	金額	10,000 円	5,000 円
会食	熱量	2,544 kcal	2,544 kcal
	金額	7,400 円	7,400 円
廃棄分（5%）	熱量	3,118 kcal	2,433 kcal
	金額	1,288 円	1,093 円
合計	熱量	82,618 kcal	60,933 kcal
	金額	44,442 円	35,347 円

30代世帯の食費 合計 = 112,881円

			30代夫婦と子ども二人世帯			
			35歳男性	33歳女性	9歳女性	5歳男性
第1群	乳・乳製品	必要量	250 g	250 g	330 g	250 g
		金額	69.15 円	69.15 円	91.28 円	69.15 円
	卵	必要量	50 g	50 g	50 g	30 g
		金額	15.60 円	15.60 円	15.60 円	9.36 円
第2群	魚介・肉	必要量	140 g	100 g	80 g	60 g
		金額	271.70 円	194.07 円	155.26 円	116.44 円
	豆・豆製品	必要量	80 g	80 g	80 g	60 g
		金額	18.07 円	18.07 円	18.07 円	13.55 円
第3群	野菜・海藻	必要量	350 g	350 g	300 g	240 g
		金額	183.78 円	183.78 円	157.53 円	126.02 円
	いも類	必要量	100 g	100 g	60 g	60 g
		金額	31.05 円	31.05 円	18.63 円	18.63 円
	果物	必要量	200 g	200 g	200 g	150 g
		金額	93.15 円	93.15 円	93.14 円	69.86 円
第4群	穀類	必要量	400 g	270 g	220 g	170 g
		金額	205.29 円	138.56 円	112.90 円	87.24 円
	砂糖	必要量	10 g	10 g	10 g	5 g
		金額	2.63 円	2.63 円	2.63 円	1.31 円
	油脂	必要量	30 g	20 g	15 g	10 g
		金額	16.63 円	11.09 円	8.32 円	5.54 円
			907.05 円	757.15 円	673.36 円	517.10 円

参考)：香川明夫監修『食品成分表2018 資料編』(女子栄養大学出版部、2018年)、p76。  
 (注) 推定エネルギー必要量の95%で構成

家での食事	熱量	68,008 kcal	58,296 kcal	39,792 kcal	31,631 kcal
	金額	27,752 円	25,793 円	18,266 円	14,571 円
昼食・給食	熱量	10,220 kcal	kcal	10,506 kcal	6,667 kcal
	金額	7,000 円	円	3,940 円	4,240 円
会食	熱量	1,272 kcal	1,704 kcal	702 kcal	702 kcal
	金額	4,000 円	2,000 円	500 円	500 円
廃棄分 (5%)	熱量	3,400 kcal	2,915 kcal	1,990 kcal	1,582 kcal
	金額	1,387 円	1,290 円	914 円	728 円
合計	熱量	82,900 kcal	62,915 kcal	52,990 kcal	40,582 kcal
	金額	40,139 円	29,083 円	23,620 円	20,039 円

40代世帯の食費 合計 = 128,228円

			40代夫婦と子ども二人世帯			
			45歳男性	43歳女性	13歳男性	9歳女性
第1群	乳・乳製品	必要量	250 g	250 g	400 g	330 g
		金額	69.15 円	69.15 円	110.64 円	91.28 円
	卵	必要量	50 g	50 g	50 g	50 g
		金額	15.60 円	15.60 円	15.60 円	15.60 円
第2群	魚介・肉	必要量	140 g	100 g	160 g	80 g
		金額	271.70 円	194.07 円	310.51 円	155.26 円
	豆・豆製品	必要量	80 g	80 g	100 g	80 g
		金額	18.07 円	18.07 円	22.59 円	18.07 円
第3群	野菜・海藻	必要量	350 g	350 g	350 g	300 g
		金額	183.78 円	183.78 円	183.79 円	157.53 円
	いも類	必要量	100 g	100 g	100 g	60 g
		金額	31.05 円	31.05 円	31.05 円	18.63 円
	果物	必要量	200 g	200 g	200 g	200 g
		金額	93.15 円	93.15 円	93.14 円	93.14 円
第4群	穀類	必要量	400 g	270 g	360 g	220 g
		金額	205.29 円	138.56 円	184.75 円	112.90 円
	砂糖	必要量	10 g	10 g	10 g	10 g
		金額	2.63 円	2.63 円	2.63 円	2.63 円
	油脂	必要量	30 g	20 g	25 g	15 g
		金額	16.63 円	11.09 円	13.86 円	8.32 円
			907.05 円	757.15 円	968.56 円	673.36 円

参考)：香川明夫監修『食品成分表2018 資料編』(女子栄養大学出版部、2018年)、p76。  
 (注) 推定エネルギー必要量の95%で構成

家での食事	熱量	68,008 kcal	58,296 kcal	39,792 kcal	31,631 kcal
	金額	27,752 円	25,793 円	18,266 円	14,571 円
昼食・給食	熱量	10,220 kcal	kcal	12,300 kcal	6,667 kcal
	金額	7,000 円	円	4,650 円	4,240 円
会食	熱量	1,272 kcal	1,704 kcal	852 kcal	702 kcal
	金額	4,000 円	2,000 円	1,000 円	500 円
廃棄分 (5%)	熱量	3,400 kcal	2,915 kcal	3,242 kcal	1,582 kcal
	金額	1,387 円	1,290 円	1,416 円	728 円
合計	熱量	82,900 kcal	62,915 kcal	81,242 kcal	40,582 kcal
	金額	40,139 円	29,083 円	35,386 円	20,039 円

### (4) 家具・家事用品費、被服及び履物費などの内訳

50代世帯の食費 合計 = 138,407円

			50代夫婦と子ども二人世帯			
			53歳男性	50歳女性	21歳男性	16歳女性
第1群	乳・乳製品	必要量	250 g	250 g	300 g	330 g
		金額	69.15 円	69.15 円	82.98 円	91.28 円
	卵	必要量	50 g	50 g	50 g	50 g
		金額	15.60 円	15.60 円	15.60 円	15.60 円
第2群	魚介・肉	必要量	140 g	100 g	140 g	120 g
		金額	271.70 円	194.07 円	271.70 円	232.88 円
	豆・豆製品	必要量	80 g	80 g	80 g	80 g
		金額	18.07 円	18.07 円	18.07 円	18.07 円
第3群	野菜・海藻	必要量	350 g	350 g	350 g	350 g
		金額	183.78 円	183.78 円	183.79 円	183.79 円
	いも類	必要量	100 g	100 g	100 g	100 g
		金額	31.05 円	31.05 円	31.05 円	31.05 円
	果物	必要量	200 g	200 g	200 g	200 g
		金額	93.15 円	93.15 円	93.14 円	93.14 円
第4群	穀類	必要量	370 g	260 g	400 g	320 g
		金額	189.88 円	133.43 円	205.28 円	164.22 円
	砂糖	必要量	10 g	10 g	10 g	10 g
		金額	2.63 円	2.63 円	2.63 円	2.63 円
	油脂	必要量	25 g	15 g	30 g	25 g
		金額	13.86 円	8.32 円	16.63 円	13.86 円
			888.87 円	749.25 円	920.87 円	846.52 円

参考)：香川明夫監修『食品成分表2018 資料編』(女子栄養大学出版部、2018年)、p76。

(注) 推定エネルギー必要量の95%で構成

家での食事	熱量	62,008 kcal	55,296 kcal	64,040 kcal	68,148 kcal
	金額	26,509 円	25,292 円	26,449 円	29,473 円
昼食・給食	熱量	10,220 kcal	kcal	13,350 kcal	kcal
	金額	7,000 円	円	6,300 円	円
会食	熱量	1,272 kcal	1,704 kcal	2,110 kcal	852 kcal
	金額	4,000 円	2,000 円	5,000 円	1,000 円
廃棄分(5%)	熱量	3,100 kcal	2,765 kcal	3,202 kcal	3,407 kcal
	金額	1,325 円	1,264 円	1,322 円	1,473 円
合計	熱量	76,600 kcal	59,765 kcal	82,702 kcal	72,407 kcal
	金額	38,834 円	28,556 円	39,071 円	31,946 円

20代単身者 設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器					
電子レンジ	17,700	6	1	246	
自動炊飯器	9,470	6	1	132	3合
電気冷蔵庫	33,000	6	1	458	100~199L
電気掃除機	9,590	6	1	133	
電気洗濯機	20,000	6	1	278	5Kg未満
電気ポット	8,370	6	1	116	
電気こたつ(ちゃぶ台兼用)	3,480	8	1	36	
小計				1,399	

30代世帯 設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器					
温水洗浄便座	17,200	6	1	239	
電子・ガスレンジ	19,116	6	1	266	
自動炊飯器	17,040	6	1	237	5.5合、IH
電気冷蔵庫	119,800	6	1	1,664	500L
電気掃除機	9,590	6	1	133	
電気洗濯機	42,920	6	1	596	全自動7kg
トースター	4,136	6	1	57	
ガステーブル	22,680	6	1	315	2口
電気アイロン	2,970	6	1	41	
ホットプレート	3,737	6	1	52	
電動ミシン	4,925	6	1	68	
ファンヒーター	10,584	6	1	147	
ルームエアコン	57,845	6	2	1,607	
扇風機	7,204	6	1	100	45W位
小計				5,522	

40代世帯 設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器					
温水洗浄便座	17,200	6	1	239	
電子・ガスレンジ	19,116	6	1	266	
自動炊飯器	17,040	6	1	237	5.5合、IH
電気冷蔵庫	119,800	6	1	1,664	500L
電気掃除機	9,590	6	1	133	
電気洗濯機	42,920	6	1	596	全自動7kg
トースター	4,136	6	1	57	
ガステーブル	22,680	6	1	315	2口
カセットコンロ	3,758	6	1	52	
電気アイロン	2,970	6	1	41	
ホットプレート	3,737	6	1	52	
ファンヒーター	10,584	6	1	147	
ルームエアコン	57,845	6	2	1,607	
扇風機	7,204	6	2	200	45W位
小計				5,606	

50代世帯 設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
設備機器・家事用耐久財および冷暖房機器					
温水洗浄便座	17,200	6	1	239	
電子・ガスレンジ	19,116	6	1	266	
自動炊飯器	17,040	6	1	237	5.5合、IH
電気冷蔵庫	119,800	6	1	1,664	500L
電気掃除機	9,590	6	1	133	
電気洗濯機	42,920	6	1	596	全自動7kg
トースター	4,136	6	1	57	
ガステーブル	22,680	6	1	315	
カセットコンロ	3,758	6	1	52	
電気アイロン	2,970	6	1	41	
ホットプレート	3,737	6	1	52	
ファンヒーター	10,584	6	1	147	
ルームエアコン	57,845	6	2	1,607	
扇風機	7,204	6	2	200	45W位
小計				5,606	

## 20代単身者 居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類					
シングルベッド	9,250	8	1	96	
カラーボックス(収納)	2,306	3	2	128	
目覚まし時計	690	8	1	7	
照明器具(天井用)	4,000	8	1	42	
カーテン	9,524	3	1	265	
カーペット	3,000	5	1	50	
敷き布団	2,769	4	1	58	
掛け布団	2,769	4	1	58	
タオルケット	1,380	2	1	58	
毛布	1,500	3	1	42	
シーツ	925	2	2	77	
まくら	925	3	1	26	
布団カバー	1,380	2	1	58	
まくらカバー	555	2	1	23	
小計				988	

## 30代世帯 居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類					
整理ダンス(作り付け除く)	7,991	15	1	44	4段チェスト
カラーボックス(ラック)	2,306	3	3	192	3段タイプ
折り畳みテーブル	2,550	15	1	14	
腰掛机・学習机(椅子含む)	13,727	15	1	76	小学・中学・高校
本箱・本棚	6,991	15	1	39	44×30×94
食器戸棚	7,991	15	1	44	
掛(柱)時計	1,143	8	1	12	
目覚まし時計	858	8	1	9	
蛍光灯の傘(照明器具)	2,862	8	3	89	1灯、LED
カーペット	2,991	5	2	100	
カーテン	9,524	3	3	794	
敷き布団	2,769	4	3	173	シングル
掛け布団	2,769	4	4	231	シングル
タオルケット	1,380	2	3	173	
毛布	1,620	3	3	135	
シーツ	925	2	4	154	
まくら	925	3	4	103	
布団カバー	1,380	2	4	230	
まくらカバー	555	2	4	93	
小計				2,705	

## 40代世帯 居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類					
整理ダンス(作り付け除く)	7,991	15	2	89	4段チェスト
洋服ダンス(作り付け除く)	9,990	15	1	56	
カラーボックス(ラック)	2,306	3	3	192	3段タイプ
腰掛机・学習机(椅子含む)	13,727	15	2	153	小・中・高校・大学
本箱・本棚	6,991	15	1	39	44×30×94
食器戸棚	7,991	15	1	44	
洋式食卓セット(椅子含む)	24,900	15	1	138	4人掛け
掛(柱)時計	1,143	8	1	12	
目覚まし時計	858	8	2	18	
蛍光灯の傘(照明器具)	2,862	8	4	119	1灯、LED
カーペット	2,991	5	2	100	
カーテン	9,524	3	4	1,058	
敷き布団	2,769	4	4	231	シングル
掛け布団	2,769	4	4	231	シングル
タオルケット	1,380	2	4	230	
毛布	1,620	3	4	180	
シーツ	925	2	8	308	
まくら	925	3	4	103	
布団カバー	1,380	2	4	230	
まくらカバー	555	2	4	93	
小計				3,624	

## 50代世帯 居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
居間・寝室用家具および室内装備品、寝具類					
整理ダンス(作り付け除く)	7,991	15	2	89	4段チェスト
洋服ダンス(作り付け除く)	9,990	15	1	56	
カラーボックス(ラック)	2,306	3	3	192	3段タイプ
腰掛机・学習机(椅子含む)	13,727	15	2	153	小・中・高・大学
本箱・本棚	6,991	15	1	39	44×30×94
食器戸棚	7,991	15	1	44	
洋式食卓セット(椅子含む)	24,900	15	1	138	4人掛け
掛(柱)時計	1,143	8	1	12	
目覚まし時計	858	8	2	18	
蛍光灯の傘(照明器具)	2,862	8	4	119	1灯、LED
カーペット	2,991	5	2	100	
カーテン	9,524	3	4	1,058	
敷き布団	2,769	4	4	231	シングル
掛け布団	2,769	4	4	231	シングル
タオルケット	1,380	2	4	230	
毛布	1,620	3	4	180	
シーツ	925	2	8	308	
まくら	925	3	4	103	
布団カバー	1,380	2	4	230	
まくらカバー	555	2	4	93	
小計				3,624	

## 20代単身者 家事雑貨

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
家事雑貨(男性)					
飯茶碗	298	2	2	25	
どんぶり	698	2	2	58	
マグカップ	148	2	2	12	
盛り皿(洋)	198	2	2	17	
コップ	248	2	2	21	
スプーン	98	5	2	3	
フォーク	98	5	2	3	
タッパー	63	5	3	3	
なべ	498	5	1	8	
フライパン	548	5	1	9	
水切りかご・ざる	348	4	1	7	
ボール	278	5	1	5	
包丁・ナイフ	980	5	1	16	
まな板	498	5	1	8	
たわし・スポンジ	88	1	1	7	
しゃもじ	178	5	1	3	
ふきん	124	1	2	21	
フライ返し	178	5	1	3	
はし・菜はし	98	5	3	5	
おたま	178	5	1	3	
物干しざお	598	5	1	10	
くずかご	298	5	1	5	
タオル	250	1	5	104	
バスタオル	380	1	3	95	
電球60形	199	3	2	11	
蛍光灯(LED)	2,310	8	2	48	
ドライバー	480	15	1	3	
バスマット	798	2	1	33	
小計				546	

## 20代単身者 家事雑貨

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
家事雑貨(女性)					
飯茶碗	298	2	2	25	
どんぶり	698	2	2	58	
マグカップ	148	2	3	19	
盛り皿(洋)	198	2	3	25	
コップ	248	2	2	21	
スプーン	98	5	2	3	
フォーク	98	5	2	3	
タッパー	63	5	3	3	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事雑貨(女性)</b>					
水筒	980	5	1	16	
弁当箱	598	5	1	10	
なべ	498	5	2	17	
フライパン	548	5	1	9	
水切りかご・ざる	348	4	1	7	
ボール	278	5	2	9	
包丁・ナイフ	980	5	1	16	
まな板	498	5	1	8	
たわし・スポンジ	88	1	1	7	
しゃもじ	178	5	1	3	
ふきん	124	1	2	21	
フライ返し	178	5	1	3	
はし・菜はし	98	5	3	5	
おたま	178	5	1	3	
物干しざお	598	5	1	10	
くずかご	298	5	1	5	
タオル	250	1	5	104	
バスタオル	380	1	3	95	
電球60形	199	3	2	11	
蛍光灯(LED)	2,310	8	2	48	
ドライバ	480	15	1	3	
バスマット	798	2	1	33	
洗面器	354	5	1	6	
小計				606	

## 30代世帯 家事雑貨

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事雑貨</b>					
ごはん茶わん	298	2	4	50	
湯飲み茶碗	145	2	4	24	
どんぶり	698	2	4	116	
コーヒー(ティー)カップ	148	2	4	25	
マグカップ	148	2	4	25	
吸い物わん	200	2	4	33	
スープケーキ皿	308	2	8	103	
大きな皿	142	2	5	30	
小さな皿	92	2	10	38	
コップ	248	2	5	52	ガラス製
スプーン	98	5	5	8	
フォーク	98	5	5	8	
ナイフ	98	5	3	5	
水筒	980	5	3	49	
弁当箱(ランチャー)	598	5	1	10	
同上	980	5	2	33	子ども用
タッパ	43	5	10	7	
きゅうす	617	2	1	26	
砂糖入れ	322	5	1	5	2個セット
しょうゆ差し	484	5	1	8	
盆	646	5	1	11	
なべ	1,598	5	3	80	20~22cm
フライパン	548	5	2	18	
やかん	1,080	5	1	18	2.5L
水切りかご・ざる	348	4	1	7	直径21センチ
ボール	278	5	3	14	
包丁・ナイフ	980	5	2	33	包丁
まな板	498	5	2	17	
たわし	98	1	6	49	金たわし
スポンジ	98	1	12	98	
はし・菜ばし	98	5	5	8	はし
しゃもじ	178	5	1	3	
ふきん	298	1	5	41	3枚入り
フライ返し	178	5	1	3	
台所用はかり	1,024	5	1	17	
おろし器	302	5	1	5	
泡立て器	499	5	1	8	
物干しざお	598	5	2	20	2.2m~4mに伸縮
おたま	277	5	2	9	
ポリバケツ・ゴミ入れ	277	5	1	5	ポリバケツ形
くずかご	298	5	3	15	
洗濯用バケツ・かご	298	5	2	10	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事雑貨</b>					
タオル	250	1	10	208	
バスタオル	380	1	5	158	
電球(LED)	2,310	8	2	48	
電球(非LED)	192	1	2	32	40形
蛍光灯(非LED)	1,090	3	3	45	30形と32形の2本セット
裁縫箱	1,620	5	1	27	
裁ちばさみ	4,298	5	1	72	
アイロン台	799	5	1	13	
ドライバ	480	15	1	3	セット
空気入れ	1,078	5	1	18	
懐中電灯	832	5	1	14	
バスマット	862	2	2	72	
洗面器	200	5	1	3	
傘立て	599	5	1	10	
小計				1,867	

## 40代世帯 家事雑貨

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事雑貨</b>					
ごはん茶わん	298	2	6	75	
湯飲み茶碗	145	2	4	24	
どんぶり	698	2	5	145	
コーヒー(ティー)カップ	148	2	5	31	
マグカップ	148	2	4	25	
吸い物わん	200	2	5	42	
スープケーキ皿	308	2	8	103	
大きな皿	142	2	5	30	
小さな皿	92	2	8	31	
コップ	248	2	10	103	ガラス製
スプーン	98	5	10	16	
フォーク	98	5	8	13	
ナイフ	98	5	8	13	
水筒	980	5	3	49	
弁当箱(ランチャー)	598	5	2	20	
同上	980	5	2	33	子ども用
タッパ	43	5	10	7	
きゅうす	617	2	1	26	
砂糖入れ	322	5	1	5	2個セット
しょうゆ差し	484	5	1	8	
盆	646	5	2	22	
なべ	1,598	5	3	80	20~22cm
フライパン	548	5	2	18	
やかん	1,080	5	1	18	2.5L
水切りかご・ざる	348	4	2	15	直径21センチ
ボール	278	5	3	14	
包丁・ナイフ	980	5	3	49	包丁
まな板	498	5	2	17	
たわし	98	1	6	49	金たわし
スポンジ	98	1	12	98	
はし・菜ばし	98	5	10	16	はし
しゃもじ	178	5	2	6	
ふきん	298	1	8	66	3枚入り
フライ返し	178	5	2	6	
台所用はかり	1,024	5	1	17	
おろし器	302	5	1	5	
泡立て器	499	5	1	8	
物干しざお	598	5	2	20	2.2m~4mに伸縮
おたま	277	5	2	9	
ポリバケツ・ゴミ入れ	277	5	2	9	ポリバケツ形
くずかご	298	5	3	15	
洗濯用バケツ・かご	298	5	1	5	
タオル	250	1	15	313	
バスタオル	380	1	10	317	
電球(LED)	2,310	8	2	48	
電球(非LED)	192	1	2	32	40形
蛍光灯(非LED)	1,090	3	4	61	30形と32形の2本セット
裁縫箱	1,620	5	1	27	
裁ちばさみ	4,298	5	1	72	
アイロン台	799	5	1	13	
ドライバ	480	15	1	3	セット

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事雑貨</b>					
金づち	646	15	1	4	
空気入れ	1,078	5	1	18	
じょうろ	516	5	1	9	
プランタン	106	5	2	4	
スコップ	322	5	1	5	
懐中電灯	832	5	1	14	
バスマット	862	2	2	72	
洗面器	200	5	1	3	
傘立て	599	5	1	10	
小計				2,386	

## 50代世帯 家事雑貨

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事雑貨</b>					
ごはん茶わん	298	2	6	75	
湯飲み茶碗	145	2	4	24	
どんぶり	698	2	5	145	
コーヒー (ティー) カップ	148	2	5	31	
マグカップ	148	2	4	25	
吸い物わん	200	2	5	42	
スープケーキ皿	308	2	10	128	
大きな皿	142	2	5	30	
小さな皿	92	2	10	38	
コップ	248	2	10	103	ガラス製
スプーン	98	5	10	16	
フォーク	98	5	10	16	
ナイフ	98	5	5	8	
水筒	980	5	3	49	
弁当箱 (ランチャー)	598	5	3	30	
タッパー	43	5	10	7	
きゅうす	617	2	1	26	
砂糖入れ	322	5	1	5	2個セット
しょうゆ差し	484	5	1	8	
盆	646	5	2	22	
なべ	1,598	5	3	80	20~22cm
フライパン	548	5	2	18	
やかん	1,080	5	1	18	2.5L
水切りかご・ざる	348	4	2	15	直径21センチ
ボール	278	5	3	14	
包丁・ナイフ	980	5	3	49	包丁
まな板	498	5	2	17	
たわし	98	1	6	49	金たわし
スポンジ	98	1	12	98	
はし・菜ばし	98	5	10	16	はし
しゃもじ	178	5	2	6	
ふきん	298	1	8	66	3枚入り
フライ返し	178	5	2	6	
台所用はかり	1,024	5	1	17	
すり鉢・すりこぎ	335	5	1	6	
おろし器	302	5	1	5	
泡立て器	499	5	1	8	
物干しざお	598	5	2	20	2.2m~4mに伸縮
おたま	277	5	2	9	
ポリバケツ・ゴミ入れ	277	5	2	9	ポリバケツ形
くずかご	298	5	3	15	
洗濯用バケツ・かご	298	5	2	10	
ホース	1,058	5	1	18	
タオル	250	1	20	417	
バスタオル	380	1	10	317	
電球 (LED)	2,310	8	2	48	
電球 (非LED)	192	1	2	32	40形
蛍光灯 (非LED)	1,090	3	4	61	30形と32形の2本セット
裁縫箱	1,620	5	1	27	
裁ちばさみ	4,298	5	1	72	
アイロン台	799	5	1	13	
ドライバー	480	15	1	3	セット
のこぎり	1,024	15	1	6	
金づち	646	15	1	4	
空気入れ	1,078	5	1	18	
じょうろ	516	5	1	9	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事雑貨</b>					
プランタン	106	5	3	5	
スコップ	322	5	1	5	
懐中電灯	832	5	2	28	
バスマット	862	2	2	72	
洗面器	200	5	2	7	
傘立て	599	5	1	10	
小計				2,548	

## 20代単身者 家庭用消耗品

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家庭用消耗品 (男性)</b>					
ポリ袋 (市指定)	100	1	0.3	30	
ラップ	278	1	1	278	
ティッシュペーパー (5箱セット)	348	1	0.2	70	
トイレトペーパー (12ロール)	198	1	0.17	34	
台所洗剤	98	1	1	98	
住宅用洗剤	158	1	1	158	
トイレ用洗剤	158	1	0.5	79	
洗濯用洗剤	159	1	1	159	
小計				905	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家庭用消耗品 (女性)</b>					
ポリ袋 (市指定)	100	1	0.4	40	
ラップ	278	1	1	278	
ティッシュペーパー (5箱セット)	348	1	0.2	70	
トイレトペーパー (12ロール)	198	1	0.25	50	
台所洗剤	98	1	1	98	
住宅用洗剤	158	1	1	158	
トイレ用洗剤	158	1	0.5	79	
洗濯用洗剤	159	1	1	159	
小計				931	

## 30代世帯 家事用消耗品

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事用消耗品</b>					
ポリ袋	300	-	月8袋	240	45L×10 (可燃・不燃用)
ラップ	271	-	月1箱	271	
アルミホイル	73	-	月1箱	73	
キッチンペーパー	141	-	月1箱	141	
ティッシュペーパー (箱)	348	-	月2箱	139	5箱
トイレトペーパー	198	-	月4個	66	12ロール
台所洗剤	98	-	月1本	98	
トイレ用洗剤	158	-	月1本	158	
住宅用洗剤	91	-	月1本	91	
洗濯用洗剤	159	-	月1本	159	
小計				1,436	

## 40代世帯 家事用消耗品

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家事用消耗品</b>					
ポリ袋	300	-	月10袋	300	45L×10 (可燃・不燃用)
ラップ	271	-	月1箱	271	
アルミホイル	73	-	月1箱	73	
キッチンペーパー	141	-	月1箱	141	
ティッシュペーパー (箱)	348	-	月3箱	209	5箱セット
トイレトペーパー	198	-	月6個	99	12ロール
台所洗剤	98	-	月1本	98	
トイレ用洗剤	158	-	月1本	158	
住宅用洗剤	91	-	月1本	91	
洗濯用洗剤	159	-	月1本	159	
小計				1,599	

## 50代世帯 家庭用消耗品

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家庭用消耗品</b>					
ポリ袋	300	-	月10袋	300	45L×10 (可燃・不燃用)
ラップ	271	-	月1箱	271	
アルミホイル	73	-	月1箱	73	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>家庭用消耗品</b>					
キッチンペーパー	141	-	月1箱	141	
ティッシュペーパー (箱)	348	-	月3箱	209	5箱
トイレトペーパー	198	-	月8個	132	12ロール
台所洗剤	98	-	月1本	98	
トイレ用洗剤	158	-	月1本	158	
住宅用洗剤	91	-	月1本	91	
洗濯用洗剤	159	-	月1本	159	
小計				1,632	

**20代単身者 被服履物**

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>被服履物(男性)</b>					
背広※	18,800	4	2	783	
礼服※	28,800	5	1	480	
オーバーコート※	18,800	4	1	392	
ジャケット※	5,990	4	2	250	
チノパン・ジーンズ	2,990	4	3	187	
半ズボン	1,500	2	2	125	
パーカー	1,990	2	2	166	
ワイシャツ	1,990	2	4	332	
長袖シャツ	990	2	4	165	
半袖シャツ	990	2	4	165	
ポロシャツ	1,990	2	2	166	
セーター・カーディガン	1,290	3	2	72	
シャツ (合・冬)	590	1	4	197	
Tシャツ	590	2	5	123	
ジャージ	1,290	2	2	108	
トレーナー	1,290	2	2	108	
パンツ・ブリーフ	590	1	5	246	
靴※	7,549	2	2	629	
サンダル	540	2	1	23	
運動靴・スニーカー	2,149	2	2	179	
靴下	290	2	6	73	
手袋	1,080	1	1	90	
ネクタイ※	1,500	2	4	250	
マフラー	1,080	2	2	90	
バンド・ベルト	1,990	2	2	166	
小計				5,561	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>被服履物(女性)</b>					
フォーマルドレス※	9,800	5	1	163	
ワンピース※	1,900	4	2	79	
オーバーコート※	5,800	4	2	242	
ジャケット※	9,800	4	2	408	
スカート	1,900	3	3	158	
スラックス	2,150	4	3	134	
ジャンパー (ブルゾン)	3,990	4	1	83	
ブラウス	999	3	3	83	
Tシャツ・ポロシャツ	780	2	5	163	
長袖・半袖シャツ	500	2	5	104	
セーター・カーディガン	2,000	2	4	333	
キャミソール	500	2	5	104	
ショーツ	300	1	5	125	
ブラジャー	599	2	5	125	
肌着	580	1	5	242	
パジャマ (夏)	1,900	2	2	158	
パジャマ (冬)	1,880	2	2	157	
ジャージ	980	2	1	41	
スウェット	980	2	1	41	
スリッパ	399	1	1	33	
サンダル	500	2	2	42	
靴・ブーツ※	2,900	2	2	242	
運動靴・スニーカー	1,180	2	2	98	
パンティストッキング	540	1	3	135	
ソックス	280	2	10	117	
手袋	480	1	1	40	
ベルト	780	2	2	65	
マフラー	980	2	2	82	
小計				3,797	

**30代世帯 被服履物**

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>被服履物(男性)</b>					
背広※	18,800	4	2	783	夏物除く
礼服※	28,800	5	1	480	
オーバーコート※	18,800	4	1	392	
ジャケット※	5,990	4	2	250	若年者用と同じ
ジャンパー	1,685	4	1	35	子ども用
チノパン・ジーンズ	990	4	3	62	
ズボン・Gパン	687	4	2	29	子ども用
半ズボン	1,500	2	1	63	
ショートパンツ	687	2	2	57	子ども用
パーカー	1,990	2	1	83	
同上	949	2	2	79	子ども用
ワイシャツ	1,990	2	4	332	
長袖シャツ	990	2	3	124	
半袖シャツ	990	2	3	124	
ポロシャツ	1,990	2	2	166	
セーター・カーディガン	2,030	3	3	169	
シャツ (合・冬)	1,290	1	2	215	下着・肌着(ヒートテック)
同上	625	1	2	104	子ども用
シャツ (夏)	590	1	2	98	下着・肌着
同上	625	1	3	156	子ども用
Tシャツ	590	2	5	123	
同上	539	2	5	112	子ども用
ジャージ	1,290	2	2	108	
トレーナー	1,290	2	1	54	
同上	755	2	1	31	子ども用
パンツ・ブリーフ	590	1	5	246	
同上	862	1	5	359	子ども用
サンダル	540	2	1	23	
靴※	7,549	2	3	944	
長靴	1,619	2	1	67	子ども用
運動靴・スニーカー	2,149	2	1	67	
同上	1,079	2	2	179	子ども用
靴下	290	2	5	448	
同上	378	2	5	225	子ども用
手袋	1,166	1	2	48	
ネクタイ※	1,620	2	4	194	
マフラー	1,166	2	2	97	
バンド・ベルト	1,990	2	2	166	
小計				7,291	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
<b>被服履物(女性)</b>					
フォーマルドレス※	9,800	5	1	163	夏冬一式
ワンピース※	1,900	4	2	79	冬物
オーバーコート※	5,800	4	1	121	
ジャケット※	9,800	4	2	408	スーツのような形
スカート	1,900	3	2	106	
同上	687	3	3	57	子ども用
スラックス	990	4	3	62	ジーンズ含む
ズボン・Gパン	687	4	3	43	子ども用
ジャンパー	3,990	4	1	83	
同上	1,685	4	1	35	子ども用
ブラウス	999	3	3	83	
Tシャツ・ポロシャツ	780	2	5	163	
同上	539	2	5	112	子ども用
長袖・半袖シャツ	500	2	5	104	
セーター・カーディガン	2,000	3	2	111	
同上	1,685	3	2	94	子ども用
パンティー	300	1	5	125	
同上	1,079	1	5	450	子ども用
ブラジャー	599	2	5	125	
シャツ (肌着)	580	1	5	242	
同上	733	1	5	305	子ども用
パジャマ (夏)	1,900	2	1	79	
同上	949	2	1	40	子ども用
パジャマ (冬)	1,880	2	1	78	
同上	1,620	2	1	68	子ども用
ジャージ	980	2	1	41	子ども用 (上下)
スウェット	1,685	2	1	70	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
被服履物(女性)					
スリッパ	980	1	2	163	
サンダル	399	2	2	33	
靴・ブーツ※	500	2	2	42	ロングブーツ
長靴	2,900	2	2	242	
運動靴・スニーカー	2,177	2	2	181	
同上	1,180	2	2	98	子ども用
パンティストッキング	1,079	1	2	180	
スパッツ	540	2	5	113	
ソックス	280	2	5	58	
同上	378	2	5	79	子ども用
マフラー	980	2	2	82	
スカーフ	540	2	1	23	
手袋	700	1	2	117	
ベルト	780	2	3	98	
エプロン	780	1	2	130	
小計				5,084	

## 40代世帯 被服履物

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
被服履物(男性)					
背広※	18,800	4	3	1,175	夏物除く
礼服※	28,800	5	1	480	
オーバーコート※	18,800	4	1	392	
ジャケット※	5,990	4	2	250	若年者用と同じ
チノパン・ジーンズ	990	4	4	83	
半ズボン	1,500	2	3	188	
パーカー	1,990	2	2	166	
ワイシャツ	1,990	2	6	498	
長袖シャツ	990	2	4	165	
半袖シャツ	990	2	5	206	
ポロシャツ	1,990	2	3	249	
セーター・カーディガン	2,030	3	3	169	
シャツ(合・冬)	1,290	1	5	538	下着・肌着(ヒートテック)
シャツ(夏)	590	1	5	246	下着・肌着
Tシャツ	590	2	10	246	
ジャージ	1,290	2	2	108	
トレーナー	1,290	2	2	108	
パンツ・ブリーフ	590	1	10	492	
サンダル	540	2	1	23	
靴※	7,549	2	3	944	
運動靴・スニーカー	2,149	2	3	269	
靴下	290	2	10	895	
手袋	1,166	1	2	48	
ネクタイ※	1,620	2	4	194	
マフラー	1,166	2	2	97	
バンド・ベルト	1,990	2	3	249	
小計				8,473	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
被服履物(女性)					
フォーマルドレス※	9,800	5	1	163	夏冬一式
ワンピース※	1,900	4	2	79	冬物
オーバーコート※	5,800	4	1	121	
ジャケット※	9,800	4	2	408	スーツのような形
スカート	1,900	3	2	106	
同上	687	5	3	34	子ども用
スラックス	990	4	3	62	ジーンズ含む
ズボン・Gパン	687	4	3	43	子ども用
ジャンパー・ブルゾン	3,990	4	1	83	
同上	1,685	5	1	28	子ども用
ブラウス	999	3	3	83	
Tシャツ・ポロシャツ	780	2	5	163	
同上	539	5	5	45	子ども用
長袖・半袖シャツ	500	2	5	104	
セーター・カーディガン	2,000	3	2	111	
同上	1,685	5	2	56	子ども用
ショーツ	300	1	5	125	
同上	1,079	5	5	90	子ども用
ブラジャー	599	2	5	125	
シャツ(肌着)	580	1	5	242	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
被服履物(女性)					
同上	733	5	5	61	子ども用
パジャマ(夏)	1,900	2	1	79	
同上	949	5	1	16	子ども用
パジャマ(冬)	1,880	2	1	78	
同上	1,620	5	1	27	子ども用
ジャージ	980	2	1	41	
ジャージ	1,685	2	1	70	子ども用(上下)
スウェット	980	2	2	82	
スリッパ	399	1	2	67	
サンダル	500	2	2	42	
靴・ブーツ※	2,900	2	2	242	ロングブーツ
長靴	2,177	2	2	181	
運動靴・スニーカー	1,180	2	2	98	
同上	1,079	2	2	90	子ども用
パンティストッキング	540	1	5	225	
ソックス	280	2	5	58	
同上	378	2	5	79	子ども用
マフラー	980	2	2	82	
スカーフ	540	2	1	23	
手袋	700	1	2	117	
ベルト	780	2	3	98	
エプロン	780	1	2	130	
小計				4,255	

## 50代世帯 被服履物

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
被服履物(男性)					
背広※	18,800	4	4	1,567	夏物除く
礼服※	28,800	5	1	480	
オーバーコート※	18,800	4	1	392	
ジャケット※	5,990	4	2	250	若年者用と同じ
チノパン・ジーンズ	990	4	5	103	
半ズボン	1,500	2	3	188	
パーカー	1,990	2	2	166	
ワイシャツ	1,990	2	7	580	
長袖シャツ	990	2	6	248	
半袖シャツ	990	2	10	413	
ポロシャツ	1,990	2	4	332	
セーター・カーディガン	2,030	3	5	282	
シャツ(合・冬)	1,290	1	6	645	下着・肌着(ヒートテック)
シャツ(夏)	590	1	6	295	下着・肌着
Tシャツ	590	2	10	246	
ジャージ	1,290	2	2	108	
トレーナー	1,290	2	2	108	
パンツ・ブリーフ	590	1	10	492	
サンダル	540	2	2	45	
靴※	7,549	2	4	1,258	
運動靴・スニーカー	2,149	2	2	179	
靴下	290	2	10	895	
手袋	1,166	1	2	48	
ネクタイ※	1,620	2	7	340	
マフラー	1,166	2	2	97	
バンド・ベルト	1,990	2	3	249	
小計				10,003	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
被服履物(女性)					
フォーマルドレス※	9,800	5	2	327	夏冬一式
ワンピース※	1,900	4	3	119	冬物
オーバーコート※	5,800	4	2	242	
ジャケット※	9,800	4	3	613	スーツのような形
スカート	1,900	3	5	264	
スラックス	990	4	5	103	ジーンズ含む
ジャンパー・ブルゾン	3,990	4	3	249	
ブラウス	999	3	5	139	
Tシャツ・ポロシャツ	780	2	10	325	
長袖・半袖シャツ	500	2	6	125	
セーター・カーディガン	2,000	3	5	278	
パンティー	300	1	10	250	
ブラジャー	599	2	10	250	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考 (容量・規格等)
被服履物(女性)					
シャツ(肌着)	580	1	10	483	
パジャマ(夏)	1,900	2	2	158	
パジャマ(冬)	1,880	2	2	157	
ジャージ	980	2	2	82	
スウェット	980	2	3	123	
スリッパ	399	1	2	67	
サンダル	500	2	3	63	
靴・ブーツ※	2,900	2	5	604	ロングブーツ
長靴	2,177	2	2	181	
運動靴・スニーカー	1,180	2	3	148	
パンティストッキング	540	1	5	225	
ソックス	280	2	10	117	
マフラー	980	2	2	82	
スカーフ	540	2	3	68	
手袋	700	1	3	175	
ベルト	780	2	3	98	
エプロン	780	1	2	130	
小計				6,240	

## (6) 交通・通信費の内訳

### 1) 30代世帯の自動車関係費

費目	金額(円)	備考	6年間の金額(円)	1カ月当たり
車両価格(車検基本料込み)	558,000		558,000	7,750
税・保険料(①~⑥)の計	146,340		601,940	8,360
①消費税(8%、取得時)	44,640		44,640	-
②取得税(2%、取得時)		7年落ちだと非課税		-
③リサイクル料(取得時)	10,580	ホンダHPより	10,580	-
④自動車税(毎年)	34,500	19/10/1より4,000円恒久減税	207,000	-
⑤重量税(1年分)	12,300	2年分24,600円の1/2	73,800	-
⑥自賠責保険料(1年分)	13,090	17年4月改定、25か月26,880円、24か月25,830円×2の年平均	78,540	-
⑦任意保険料(年額)	31,230	夫婦2人分	187,380	-
整備費用(⑦~⑪)の計			392,010	5,445
⑦車検(2年ごと)	23,000	6年間で2回	46,000	-
⑧上記の消費税(8%)	1,840	同上	3,680	-
⑨印紙代	1,100	同上	2,200	-
⑩部品・消耗品の交換費用	*詳細は下表を参照		314,935	-
⑪上記の消費税(8%)			25,195	-
小計				21,555

- 注1) 7年落ち(2012年に初回登録、7万km走行)の中古乗用車(1300cc)を購入後6年使用する(車検直前に廃車し手放す)。  
 2) Webサイトで条件に合った中古車は9台で、価格(消費税と車検基本料金込み)の最低が42.8万円、最高が85.7万円、安い方から3割程度の価格は55.8万円(消費税抜き)。2019年11月調査。  
 3) 消費税率は8%で不変とした。  
 4) 任意保険の契約内容は、対人賠償：無制限、対物賠償：無制限、人身傷害：5000万円、車両保険：車対車危険限定・免責ゼロ、弁護士特約で14等級、25歳からスタートし、6年間無事故とした。

### 部品・消耗品の交換費用

費目	交換時期	部品代(円)	工賃(円)	交換回数/6年	6年間の金額(円)
エンジンオイル	10,000kmごと	3,298	550	7	26,936
オイルフィルター	10,000kmごと	1,540		7	10,780
バッテリー交換	4年間に1回	10,998	550	1	11,548
冷却水交換	10万kmごと	3,023	2,200	1	5,223
スパークプラグ	5万kmごと	4,180	2,200	2	12,760
ヘッドライトバルブ	切れたら	2,088	1,000	2	6,176
タイヤ交換	4万kmごと	21,340		1	21,340
冬用タイヤ	3万kmごと	32,384		2	64,768
冬⇄夏タイヤ交換	年2回		6,000	12	72,000
エアコンフィルター	車検時	4,068	1,100	2	10,336
ファンベルト	5万kmごと	4,180	5,000	2	18,360
ブレーキフルード	車検時	3,080	2,500	2	11,160
フロントブレーキパッド	40,000kmごと	6,600	4,000	2	21,200
リアブレーキシュー	80,000kmごと	4,000	7,800	1	11,800
ワイパーブレードラバー	年1回	1,758		6	10,548
合計					314,935

1本5000円  
1本8000円

- 注1) 部品・消耗品の交換費用については、整備工場2社に問い合わせ設定した。2019年11月調査。  
 2) 部品交換時に12カ月点検を含むものとした。

### 2) 40代世帯の自動車関係費

費目	金額(円)	備考	6年間の金額(円)	1カ月当たり
車両価格(車検基本料込み)	558,000		558,000	7,750
税・保険料(①~⑥)の計	141,470		572,720	7,954
①消費税(8%、取得時)	44,640		44,640	-
②取得税(2%、取得時)		7年落ちだと非課税		-
③リサイクル料(取得時)	10,580	ホンダHPより	10,580	-
④自動車税(毎年)	34,500	19/10/1より4,000円恒久減税	207,000	-
⑤重量税(1年分)	12,300	2年分24,600円の1/2	73,800	-
⑥自賠責保険料(1年分)	13,090	17年4月改定、25か月26,880円、24か月25,830円×2の年平均	78,540	-
⑦任意保険料(年額)	26,360	夫婦2人分	158,160	-
整備費用(⑦~⑪)の計			392,010	5,445
⑦車検(2年ごと)	23,000	6年間で2回	46,000	-
⑧上記の消費税(8%)	1,840	同上	3,680	-
⑨印紙代	1,100	同上	2,200	-
⑩部品・消耗品の交換費用	*30代世帯と共通		314,935	-
⑪上記の消費税(8%)			25,195	-
小計				21,149

### 3) 50代世帯の自動車関係費

費目	金額(円)	備考	6年間の金額(円)	1カ月当たり
車両価格(車検基本料込み)	558,000		558,000	7,750
税・保険料(①~⑥)の計	158,990		677,840	9,414
①消費税(8%、取得時)	44,640		44,640	-
②取得税(2%、取得時)		7年落ちだと非課税		-
③リサイクル料(取得時)	10,580	ホンダHPより	10,580	-
④自動車税(毎年)	34,500	19/10/1より4,000円恒久減税	207,000	-
⑤重量税(1年分)	12,300	2年分24,600円の1/2	73,800	-
⑥自賠責保険料(1年分)	13,090	17年4月改定、25か月26,880円、24か月25,830円×2の年平均	78,540	-
⑦任意保険料(年額)	43,880	夫婦および大学生の3人分	263,280	-
整備費用(⑦~⑪)の計			392,010	5,445
⑦車検(2年ごと)	23,000	6年間で2回	46,000	-
⑧上記の消費税(8%)	1,840	同上	3,680	-
⑨印紙代	1,100	同上	2,200	-
⑩部品・消耗品の交換費用	*30代世帯と共通		314,935	-
⑪上記の消費税(8%)			25,195	-
小計				22,609

### 20代単身者 交通用具

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
交通用具					
自転車	10,800	2	1	450	
小計				450	

### 30代世帯 交通用具

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
交通用具					
自転車(大人用)	10,800	2	1	450	
自転車(子ども用)	15,980	2	1	666	
小計				1,116	

### 40代世帯 交通用具

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
交通用具					
自転車(大人用)	10,800	2	2	900	
自転車(子ども用)	15,980	2	1	666	
小計				1,566	

### 50代世帯 交通用具

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
交通用具					
自転車(大人用)	10,800	2	3	1,350	
小計				1,667	

## (7) 教育費の内訳

幼稚園（私立） 月当たり = 25,139円

項目	3歳	4歳	5歳	1年当たりの 支出者平均額
	支出率	支出率	支出率	
学習費総額				301,667
学校教育費 小計				291,667
授業料	99.458	99.439	99.412	217,000
PTA会費	75.464	74.993	75.811	7,000
その他の学校納付金	99.894	90.608	90.356	40,000
学用品・実験実習材料費	88.054	76.657	77.093	11,000
制服	66.749	28.948	27.416	5,667
その他	92.817	87.222	89.826	11,000
学校外活動費 小計				10,000
図書費	75.373	67.703	69.692	10,000

- 注1)「支出率」とは各経費を支出した者の比率(%),「支出者平均額」とは各経費を支出した者の平均額である。  
 2) 制服の支出者平均額は幼稚園の場合、3歳児の額の1/3、中学校・高校の場合、第1学年の額の1/3とした。  
 3) かばん・雨傘などの通学用品費は、身の回り用品費で計上したので除外  
 4) 学習机・いす・本棚・補助学習用のパソコン等の物品費は、家具・家事用品、教養娯楽費で計上したので除外  
 5) 図書費とは、参考書・問題集・辞書・百科事典・学習用パソコンソフト等の購入費

小学生（公立・中学年） 月当たり = 2,958円

項目	第3学年		第4学年		1学年当たりの 支出者平均額
	支出率	支出者平均額	支出率	支出者平均額	
学校教育費 計		35,000		36,000	35,500
修学旅行・遠足・見学費	86.1	3,000	90.3	4,000	3,500
学級・児童会・生徒会費	71.1	7,000	68.6	7,000	7,000
PTA会費	100	3,000	100	4,000	3,500
その他の学校納付金	78.5	2,000	74.8	2,000	2,000
学用品・実験実習材料費	99.8	17,000	99.1	15,000	16,000
その他	80.1	3,000	78.5	4,000	3,500

中学生（公立） 月当たり = 35,917円

項目	第1学年	第2学年	第3学年	1学年当たりの 支出者平均額
	支出率	支出率	支出率	
学習費総額				431,000
学校教育費 小計				125,000
修学旅行・遠足・見学費	81.1	82	86	30,000
学級・児童会・生徒会費	88.5	85.3	85.7	5,000
PTA会費	96.2	98.6	97.8	4,000
その他の学校納付金	87.1	85.1	84.5	7,000
学用品・実験実習材料費	100	99	96.7	20,000
教科外活動費	90.9	84.1	79	37,000
制服	93.3	31.2	38.8	17,000
その他	84.3	49.6	61.6	5,000
学校外活動費 小計				306,000
図書費	67.7	66	82.9	12,000
学習塾費	57.9	67.8	80.4	294,000

高校生（公立） 月当たり = 18,139円

項目	第1学年	第2学年	第3学年	1学年当たりの 支出者平均額
	支出率	支出率	支出率	
学校教育費 計				217,667
修学旅行・遠足・見学費	79.4	97	52.5	46,000
学級・児童会・生徒会費	100	99.3	97.3	14,000
PTA会費	100	100	100	7,000
その他の学校納付金	100	99.7	99.7	29,000
教科書費・教科書以外の図書費	95.9	85.5	85.7	24,000
学用品・実験実習材料費	99.5	92.5	93.6	20,000
教科外活動費	83.8	78.5	68	58,000
制服	92.5	37.7	28.8	19,667

## (8) 教養娯楽費の内訳

20代単身者 教養娯楽費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品(男性)					
カラーテレビ(24型)	38,750	5	1	646	
ノートパソコン	34,800	4	1	725	
インターネット接続料(機器を含む)				3,579	
USB(16G)	920	2	1	38	
水着	1,480	2	1	62	
文庫本・雑誌	700			700	
小計				5,750	

20代単身者 教養娯楽費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品(女性)					
カラーテレビ(24型)	38,750	5	1	646	
ノートパソコン	34,800	4	1	725	
インターネット接続料(機器を含む)				3,579	
USB(16G)	920	2	1	38	
水着	1,990	2	1	83	
文庫本・雑誌	700			700	
小計				5,771	

教養娯楽サービスについては、生活実態調査による若年単身世帯の集計結果にもとづいて算定した。それによると、日帰り旅行については、「月に1回」が最も多く33.7%であった。そのほかには、「月に0回」が27.4%、「月に2回」が18.2%と続いた。ここでは、日帰り旅行を、月に1回と想定した。また、その費用は1回=5,000円(年間60,000円)とした(20代の平均額は7,455円)。1泊以上の旅行については、年に「2回」の24.3%が最も多かった。次いで、「1回」=21.1%、「3回」=18.9%と続いた。この結果から、帰省なども含めて年2~3回の1泊旅行を想定した。その1回の費用については、年間90,000円(月当たり7,500円)とした(20代の1回当たりの平均額は37,688円)。

また、休日や余暇の過ごし方(複数回答)として、最も多いのが「自宅での休養」=78.3%、次いで「友人や知人との交際」=55.8%、「ショッピング」=38.3%、「映画などの鑑賞」=20.4%などと続いていた。これらことから、上記の行楽や旅行を除いて、恋人や友人などと一緒にショッピングや映画・観劇・音楽・絵画などの鑑賞を楽しむのを週1回(月に4回)とし、その費用を月8,000円とした。

30代世帯 教養娯楽費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品					
カラーテレビ	53,780	5	1	896	
DVD(BD)プレイヤー	37,800	5	1	630	ブルーレイ込み
カメラ・デジカメ	14,850	5	1	248	デジカメ
ビデオカメラ	33,880	5	1	565	
プリンター	5,420	5	1	90	
パソコン(ノート)	34,800	4	1	725	
文庫本・単行本	800	-	0.5	800	絵本
水着(男性用)	1,480	2	1	62	
水着(女性用)	1,990	2	1	83	
同上	1,079	2	2	90	子ども用
携帯ゲーム機	15,950	5	1	266	
ゲームソフト	1,000	3	1	28	
インターネット接続料	3,579	-		3,579	機器代を含む
USBメモリ	920	2	1	38	16GB
小計				8,099	

教養娯楽サービス：日帰り行楽が月に1回で、費用は5,000円、1泊以上の旅行が年に2回で、費用が1回当たり50,000円で年間100,000円(月当たり8,333円)、これとは別に、「ショッピング」や「友人・知人との交際」、「スポーツなど体力づくり」、「社会活動」に一定の回答があることを考慮して、2カ月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1回あたりの費用は(2,000円×3人)+(1,000円×幼児1人)=7,000円を計上する(月あたり3,500円)。

40代世帯 教養娯楽費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品					
カラーテレビ	53,780	5	2	1,793	
DVD(BD)プレイヤー	37,800	5	1	630	ブルーレイ込み
カメラ・デジカメ	14,850	5	1	248	デジカメ
ビデオカメラ	33,880	5	1	565	
プリンター	5,420	5	1	90	
パソコン(ノート)	34,800	4	1	725	
水着(男性用)	1,480	2	2	123	
水着(女性用)	1,990	2	1	83	
同上	1,079	2	1	45	子ども用
携帯ゲーム機	15,950	3	1	443	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品					
ゲームソフト	1,000	2	1	42	
インターネット接続料	3,579	-		3,579	機器代を含む
USBメモリ	920	2	2	77	16GB
小計				8,442	

教養娯楽サービス：日帰り行楽が2か月に1回で、費用は8,000円(月当たり4,000円)、1泊以上の旅行が年に1回で、費用が60,000円(月当たり5,000円)、これとは別に、以外に、「ショッピング」・「スポーツなど体づくり」・「社会活動」・「友人・知人との交際」・「映画などの鑑賞」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1人2,000円×4人=8,000円を計上する。

### 50代世帯 教養娯楽費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
教養娯楽用耐久財・教養娯楽用品					
カラーテレビ	53,780	5	2	1,793	
DVD (BD)プレイヤー	37,800	5	1	630	ブルーレイ込み
カメラ・デジカメ	14,850	5	1	248	デジカメ
プリンター	5,420	5	1	90	
パソコン(ノート)	34,800	4	1	725	
日刊新聞	4,037	-	1	4,037	京都新聞朝夕刊
水着(男性用)	1,480	2	2	123	
水着(女性用)	1,990	2	2	166	
携帯ゲーム機	15,950	3	1	443	
ゲームソフト	1,000	2	1	42	
インターネット接続料	3,579	-		3,579	機器代を含む
USBメモリ	920	2	2	77	16GB
小計				11,952	

教養娯楽サービス：日帰り行楽が3か月に1回で、費用は8,000円(月当たり2,667円)、1泊以上の旅行が年に1回で、費用が60,000円(月当たり5,000円)、これとは別に、以外に、「ショッピング」・「スポーツなど体づくり」・「社会活動」・「友人・知人との交際」・「映画などの鑑賞」に一定の回答があることを考慮して、月に1回は、いずれかの活動を行っている想定し、1人2,000円×4人=8,000円を計上する。

## (9) その他の消費支出の内訳

### 20代単身者 理美容用品費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
理美容用品費(男性)					
ヘアードライヤー	1,560	6	1	22	
歯ブラシ	178	1	12	178	
かみそり	598	1	6	299	
洗顔フォーム	298	1	12	298	
シャンプー	615	1	6	308	
リンス・コンディショナー	615	1	6	308	
ボディーシャンプー	298	1	6	149	
歯磨き	165	1	12	165	
小計				1,726	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
理美容用品費(女性)					
ヘアードライヤー	1,560	6	1	22	
歯ブラシ	178	1	12	178	
かみそり(3本入り)	198	1	4	59	
ヘアブラシ	548	3	1	15	
洗顔フォーム	298	1	12	298	
シャンプー	615	1	6	308	
リンス・コンディショナー	615	1	6	308	
ボディーシャンプー	298	1	6	149	
歯磨き	165	1	12	165	
化粧クリーム	604	1	12	604	
化粧水	810	1	12	810	
乳液	972	1	12	972	
ファンデーション	1,080	1	12	1,080	
口紅	350	1	12	350	
小計				5,317	

### 30代世帯・40代世帯 理美容用品費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
理美容用品費					
ヘアードライヤー	1,560	6	1	22	
歯ブラシ	178	-	月4本	712	
ヘアブラシ	548	3	2	30	女性用
カミソリ(男性)	598	-	月0.5本	299	
カミソリ(女性)	198	-	月3本	66	3本
化粧石鹸	250	-	月1本	250	固形石鹸
化粧石鹸	298	-	月1本	298	チューブ
シャンプー	615	-	月1本	615	詰め替え用
リンス・コンディショナー	615	-	月1本	615	詰め替え用
ボディーシャンプー	298	-	月1本	298	詰め替え用
歯磨き	165	-	月1本	165	
化粧クリーム	500	-	月1本	500	
化粧水	810	-	月1本	810	
乳液	972	-	月1本	972	
ファンデーション	1,080	-	月1本	1,080	
口紅	350	-	月1本	350	
小計				7,082	

### 50代世帯 理美容用品費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
理美容用品費					
ヘアードライヤー	1,560	6	1	22	
電気カミソリ	1,400	6	1	19	
歯ブラシ	178	-	月4本	712	
ヘアブラシ	548	3	2	30	女性用
カミソリ(男性)	598	-	月0.5本	299	
カミソリ(女性)	198	-	月3本	66	3本
化粧石鹸	250	-	月1本	250	固形石鹸
化粧石鹸	298	-	月1本	298	チューブ
シャンプー	615	-	月1本	615	詰め替え用
リンス・コンディショナー	615	-	月1本	615	詰め替え用
ボディーシャンプー	298	-	月1本	298	詰め替え用
歯磨き	165	-	月1本	165	
化粧クリーム	500	-	月1本	500	
化粧水	810	-	月1本	810	
乳液	972	-	月1本	972	
ファンデーション	1,080	-	月1本	1,080	
口紅	350	-	月1本	350	
小計				7,102	

### 20代単身者 身の回り用品費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
身の回り用品費(男性)					
傘	1,000	2	1	42	
旅行用かばん	3,800	5	1	63	
ショルダーバッグ	2,880	5	1	48	
リュックサック	1,880	5	1	31	
財布	1,880	5	1	31	
腕時計※	9,800	10	1	82	
ハンカチ	540	1	5	225	
帽子	990	1	2	165	
小計				687	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
身の回り用品費(女性)					
傘	1,000	2	2	83	
旅行用かばん	3,800	5	1	63	
ショルダーバッグ	2,880	5	2	96	
ハンドバッグ	2,880	5	2	96	
ショッピング(エコ)バッグ	350	2	1	15	
リュックサック	1,880	5	1	31	
財布	1,880	5	1	31	
腕時計※	14,200	10	1	118	
ネックレス※	4,100	10	2	68	
イヤリング・ピアス※	1,980	10	3	50	
ハンカチ	190	1	5	79	
帽子	990	1	2	165	
小計				896	

## 30代世帯 身の回り用品費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
身の回り用品費					
傘(男性)	650	2	1	27	
傘(女性)	1,000	2	1	42	
同上	647	2	2	54	子ども用
雨がっぱ	1,490	4	1	31	
同上	1,079	4	2	45	子ども用
旅行用かばん・スーツケース(男性)	3,800	5	1	63	
旅行用かばん・スーツケース(女性)	3,800	5	1	63	
ショルダーバッグ(女性)	2,880	5	1	48	
ハンドバッグ(女性)	2,880	5	2	96	
ショッピングバッグ	550	5	2	18	
リュックサック・デイバッグ(男性)	1,880	5	1	31	
リュックサック・デイバッグ(女性)	1,880	5	1	31	
同上	1,079	5	1	18	子ども用
ランドセル	12,500	6	1	174	
財布(男性)※	5,800	5	1	97	
財布(女性)※	5,800	5	1	97	
財布(男性)	1,880	5	1	31	
腕時計(男性)※	9,800	10	1	82	
腕時計(女性)※	14,200	10	1	118	
指輪	4,190	10	2	70	
ネックレス	4,100	10	2	68	
イヤリング・ピアス※	1,980	10	2	33	
帽子(男性)	990	1	1	83	
帽子(女性)	980	1	1	82	
同上	1,079	1	1	90	小学生用
同上	950	1	1	79	幼児用
ハンカチ	540	1	10	450	
小計				2,121	

注：ランドセルについては、本来は5年の使用年数であるが、実態に合わせて6年とした

## 40代世帯 身の回り用品費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
身の回り用品費					
傘(男性)	650	2	2	54	
傘(女性)	1,000	2	2	83	
同上	647	2	1		子ども用
雨がっぱ	1,490	4	1	31	
同上	1,079	4	1		子ども用
旅行用かばん・スーツケース(男性)	3,800	5	1	63	
旅行用かばん・スーツケース(女性)	3,800	5	1	63	
ショルダーバッグ(女性)	2,880	5	2	96	
ハンドバッグ(女性)	2,880	5	2	96	
ショッピングバッグ	550	5	2	18	
リュックサック・デイバッグ(男性)	1,880	5	1	31	
リュックサック・デイバッグ(女性)	1,880	5	1	31	
同上	1,079	5	1	18	子ども用
ランドセル	12,500	6	1	174	
財布(男性)※	5,800	5	1	97	
財布(女性)※	5,800	5	1	97	
財布(男性)	1,880	5	1	31	
財布(女性)	1,880	5	1	31	
腕時計(男性)※	9,800	10	1	82	
腕時計(女性)※	14,200	10	1	118	
指輪	4,190	10	2	70	
ネックレス	4,100	10	2	68	
イヤリング・ピアス※	1,980	10	2	33	
帽子(男性)	990	1	2	165	
帽子(女性)	980	1	1	82	
同上	1,079	1	1	90	子ども用
ハンカチ	540	1	10	450	
小計				2,174	

## 50代世帯 身の回り用品費

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
身の回り用品費					
傘(男性)	650	2	2	54	
傘(女性)	1,000	2	2	83	
雨がっぱ	1,490	4	2	62	

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考(容量・規格等)
身の回り用品費					
旅行用かばん・スーツケース(男性)	3,800	5	1	63	
旅行用かばん・スーツケース(女性)	3,800	5	1	63	
ショルダーバッグ(女性)	2,880	5	2	96	
ハンドバッグ(女性)	2,880	5	2	96	
ショッピングバッグ	550	5	3	28	
リュックサック・デイバッグ(男性)	1,880	5	1	31	
リュックサック・デイバッグ(女性)	1,880	5	1	31	
財布(男性)※	5,800	5	2	193	
財布(女性)※	5,800	5	1	97	
財布(女性)	1,880	5	1	31	高校生用
腕時計(男性)※	9,800	10	2	163	
腕時計(女性)※	14,200	10	1	118	
腕時計(女性)	1,000	10	1	8	高校生用
指輪	4,190	10	2	70	
ネックレス	4,100	10	2	68	
イヤリング・ピアス※	1,980	10	2	33	
帽子(男性)	990	1	2	165	
帽子(女性)	980	1	2	163	
ハンカチ	540	1	10	450	
小計				2,169	

## 前回調査(2006年)との比較

生計費結果	25歳男性・単身者世帯		40代夫婦と子ども2人(中学生・小学生)	
	2019年	2006年	2019年	2006年
居住面積(賃貸)	25㎡	25㎡	47.5㎡	50㎡
<b>A 消費支出(1~10)</b>	<b>178,390</b>	<b>149,895</b>	<b>420,094</b>	<b>352,877</b>
1 食費	44,441	41,011	128,228	112,556
2 住居費	41,667	41,250	67,708	62,500
3 光熱・水道	7,419	6,161	19,405	17,687
4 家具・家事用品	3,836	4,100	13,200	13,914
5 被服・履物	5,921	7,090	13,538	27,572
6 保健医療	1,137	2,062	11,857	9,961
7 交通・通信	18,612	12,703	53,707	20,135
8 教育	0	0	38,875	31,605
9 教養娯楽	27,510	14,995	26,702	21,418
10 その他	27,847	20,523	46,874	35,529
B 非消費支出	49,595	32,884	87,729	70,029
C 予備費	17,800	15,000	42,000	35,000
最低生計費(税抜き) A+C	196,190	164,895	462,094	387,877
<b>D 同上(税込み) A+B+C</b>	<b>245,785</b>	<b>197,779</b>	<b>549,823</b>	<b>457,906</b>
同上(税込み) D×12	2,949,420	2,373,348	6,597,876	5,494,872

注：前回と比較可能な世帯について。また、若干であるが試算方法に異なる部分があるために、単純比較は注意を要する。

## 2019年最低生計費試算調査（通称：京都生活実態調査）報告書

---

発行：2020年1月

京都地方労働組合総評議会（略称：京都総評）

京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都5階

TEL：075（801）2308

FAX：075（812）4149

E-mail：sohyo@labor.or.jp

---

